

平成30年度

事業報告書

社会福祉法人

四日市市社会福祉協議会

目 次

◎ 会務報告	1
◎ 総括	3

総務課

1. 法人運営事業	4
(1) 第5次四日市市地域福祉活動計画の推進	
(2) 職員研修の実施	
(3) 福祉サービス相談窓口の開設	
(4) B C P（事業継続計画）の推進	
(5) 団体活動支援	
2. 市民啓発事業	5
(1) 社協だより「かけはし」の発行	
(2) 四日市市社会福祉大会の開催	
(3) ホームページの更新	
3. 資金貸付事業	7
(1) 生活福祉資金貸付事業の実施	
(2) 資金貸付事業の実施	
4. 財源確保	8
(1) 財政基盤の安定化	
① 社会福祉協議会会費	
② 善意の基金	
③ 寄付金等	
④ 資産運用	
(2) 共同募金運動（三重県共同募金会四日市市共同募金委員会事業）の推進	
(3) 収益事業	
① 「喫茶ふれあい」の経営	
② 「総合会館売店」の受託運営	
5. その他の福祉事業	9
(1) よっかいち福祉の店	
(2) 生活困窮者支援事業	
① 生活困窮者支援緊急食糧提供事業（フードバンク）	
② 生活困窮者就労活動支援事業	
(3) 実習生等の受け入れ実績（総数）	
6. 職員の安全衛生事業	10

地域福祉課

1. ふれあいのまちづくり事業	
(1) 地区社会福祉協議会支援	11
① 地区社協への運営費等の助成	
② 地区社協指導者研修会等の実施	
③ 福祉協力員等活動費補助事業の実施	

④地域福祉活動メニュー事業の実施	
(2) 地域コミュニティの推進	19
①生活支援コーディネーター	
②四日市市小地域福祉活動事業（拠点事業）の実施	
③ふれあいいきいきサロン推進事業及び住民主体サービスの推進	
④四日市市福祉教育大学	
⑤社会福祉相談援助実習	
⑥防災・災害支援事業	
(3) 包括的相談窓口の設置	24
①成年後見サポートセンター	
②地域後見サポート事業	
③福祉総合相談事業	
④三泗日常生活自立支援センター	
⑤生活困窮家庭支援、リユース事業	

2. 福祉ボランティアのまちづくり事業

(1) 相談援助業務	28
①ボランティアに関する相談及びコーディネート業務	
(2) 情報収集と提供	28
①ボランティアニュース「ボランティアのたまご」の発行	
②ボランティア団体会員募集一覧冊子の作成	
③ホームページの更新	
④フェイスブックの更新	
(3) ボランティアのきっかけづくり事業	29
①はじめてのボランティア説明会の開催	
②サマーチャレンジ2018の開催	
(4) 人育て（人材育成）事業	30
①地域福祉活動拠点でのボランティア講座	
②障害者スポーツボランティア講座の開催	
③福祉教育推進事業・福祉教育への支援	
(5) 活動支援（助成）事業	32
①外出援助サービス保険料助成事業の実施	
②ボランティア活動保険の加入促進	
(6) 協働事業	32
①四日市ボランティアキャンペーンの開催	
②ボランティアのつどいの開催	
③コーディネートを考える会議の開催	
④学生〔高校生・大学生〕ボランティア連携事業	

3. 福祉施設の管理運営

(1) 中央老人福祉センター	35
(2) 母子・父子福祉センター	36
(3) おもちゃ図書館	36

福祉支援課

1. 障害福祉支援室

(1) 障害者自立支援施設「共栄作業所」	38
(2) 障害者自立支援施設「たんぽぽ」	39
(3) 障害者自立支援施設「あさけワークス」	40
(4) 障害者福祉センター	41
①身体障害者デイサービス事業	
②障害者福祉関係団体の支援	
③障害者福祉に関する啓発・情報提供	
(5) 障害者自立生活支援センター「かがやき」	44
①相談業務	
②自立支援協議会生活支援部会の運営	
③特定相談支援事業	
(6) 視覚障害者福祉センター	45
(7) 障害者就業・生活支援センター「プラウ」	46
①相談業務の実施	
②関係機関との連携	
③講座の開催	
④定着支援のために	
(8) 障害者就労支援事業ワークセンター	48
①職場実習の状況	

2. 高齢福祉支援室

(1) 中地域包括支援センター	48
①包括的支援事業	
②包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	
③要支援者ケアプラン及び総合事業ケアマネジメント	
④地域支援事業における介護予防事業	
⑤参加研修等	
⑥実習生の受け入れ	
(2) 訪問介護事業所	50
①介護保険訪問介護サービス	
②障害福祉サービス	
(3) 通所介護事業所「ゆりかもめ」	51
(4) くす在宅介護支援センター	53
①総合相談	
②地域介護予防普及啓発、福祉活動推進事業	
③介護予防推進事業	
④地域ケア会議の開催	
(5) 居宅介護支援事業所	54
(6) 介護保険認定調査室	54

平成 30 年度事業報告

【 会 務 報 告 】

理事会の開催

・第 1 回理事会

平成 30 年 6 月 1 日（金）午後 2 時～4 時 市総合会館 8 階 第 3・4 会議室

- 議 案
1. 評議員候補者の推薦について
 2. 福祉サービス相談窓口第三者委員の選任について
 3. 平成 29 年度事業報告及び収支決算報告について
 4. 平成 29 年度監査結果報告について
 5. 各種規程の一部改正について

・第 2 回理事会

平成 30 年 8 月 27 日（月）午後 2 時～3 時 市総合会館 8 階 第 3・4 会議室

- 議 案
1. 評議員候補者の推薦について
 2. 四日市市社会福祉大会における福祉功労者の表彰について
 3. 定款施行細則及び各種規程の改廃及び新設について

・第 3 回理事会

平成 31 年 3 月 27 日（水）午後 2 時～3 時 30 分 市総合会館 7 階 第 1 研修室

- 議 案
1. 理事の一部変更について
 2. 平成 30 年度収支補正予算について
 3. 平成 31 年度事業計画及び収支予算について
 4. 各種規程等の一部改正等について
 5. 評議員会の招集について

・書面による理事会の決議

平成 30 年 4 月 27 日（金）

- 議 案
1. 理事・監事の一部変更について
 2. 評議員会の招集について

平成 30 年 7 月 19 日（木）

- 議 案
1. 理事の一部変更について
 2. 評議員会の招集について

評議員会の開催

・定時評議員会

平成 30 年 6 月 27 日（水）午後 2 時～3 時 30 分 市総合会館 8 階 第 3・4 会議室

- 議 案
1. 平成 29 年度事業報告及び収支決算報告について
 2. 平成 29 年度監査結果報告について
 3. 会員規程の一部改正について

・3 月評議員会

平成 31 年 3 月 28 日（木）午後 2 時～3 時 30 分 市総合会館 7 階 第 1 研修室

- 議 案
1. 理事の一部変更について
 2. 平成 30 年度収支補正予算について
 3. 平成 31 年度事業計画及び収支予算について

- ・書面による評議員会の決議

平成30年5月11日（金）

議 案 1. 理事・監事の一部変更について

平成30年7月27日（金）

議 案 1. 理事の一部変更について

評議員選任・解任委員会の実施

- ・第1回評議員選任・解任委員会

平成30年6月1日（金）午後4時～4時30分 市総合会館8階 第3・4会議室

議 案 1. 評議員の選任について

- ・第2回評議員選任・解任委員会

平成30年8月27日（月）午後4時～4時30分 市総合会館8階 第3・4会議室

議 案 1. 評議員の選任について

監査の実施

平成30年5月23日（水）午後2時～午後3時30分 市総合会館3階 社会適応訓練室

平成29年度事業報告及び会計監査

社会福祉協議会役員視察研修の実施

平成30年11月21日（水）午後1時30分から午後4時

(1) 視察先 四日市市社会福祉協議会管理運営施設（たんぽぽ、共栄作業所、ゆりかもめ）

(2) 参加者 社会福祉協議会理事・監事8名

(3) 視察内容 本会の福祉施設運営の現状と課題等を把握し、適正な法人の運営及び経営に資する等

総 括

全国的な背景として、少子高齢・人口減少による地域や家庭における福祉力の脆弱化が進む中、社会的孤立や孤独、生活困窮やホームレス、権利擁護や虐待など、一人ひとりが抱える暮らしの福祉課題が複数重なり、かつ複雑多岐に渡っている。

そのような中、「他人事」になりがちな地域づくりを地域住民が「我が事」として主体的に取り組む仕組みづくりや、対象者ごとの縦割りの福祉サービスを横断的に提供していく「丸ごと」の総合相談支援などが求められている。

本会では、第5次四日市市地域福祉活動計画の3年目にあたり、基本理念である安心して暮らしつづけることができる福祉のまちづくり～市社協の強みを生かし、「つなげる」から「つながる」へ～に基づき、地域住民や関係機関の協力、連携を得ながら、職員の横断的な連携を掲げ業務執行にあたった。

特徴的な取り組み

○法人運営関連事業

- ・役員視察研修の実施

法人の適正な運営に資するため、本会理事、監事を対象に、本会が管理運営する障害者及び高齢者施設の視察研修を行った。

- ・第5次四日市市地域福祉活動計画社協マン座談会の開催

全所属を対象に、社協マン座談会を開催し、日頃の業務上の課題等の把握・整理を行った。把握した課題の解決に向けた取り組み（バージョンアッププロジェクト）及び、第6次計画策定に向けた準備を行った。

- ・職員の資質向上

人権研修、意思決定支援に関する研修、交通安全研修など、全職員を対象とした研修を実施し、職員個々の資質向上を目指した。

○地域福祉関連事業

- ・ふれあいのまちづくり事業

小地域福祉活動の推進を図るため、地区社会福祉協議会連絡協議会の全体事業を実施した。また、四日市市から生活支援コーディネーター及びふれあいいいきサロン推進事業の委託を受けて職員5名を配置し、地域包括ケアの実現にむけて拠点事業及び地域ケア会議への出席等を通じて地域組織化に取り組んだ。地域拠点では、住民参加型福祉サービスを協働実施し、総合事業B型のモデル事業として視察受け入れや講師派遣を行った。

- ・成年後見サポートセンター事業

権利擁護関連においてスーパーバイズできる相談員2名を配置し、成年後見制度や権利擁護の事業に関わる相談だけではなく、先駆的事业の開発として制度の狭間で支援の行き届かないケース等に対する相談窓口を設置した。これらの活動から明らかになった課題を解決すべく、福祉関係機関の参画を得た調査研究委員会で入院入所時の課題に対応できる新たなセーフティネット構築に向けた検討を行った。

- ・ボランティアセンター事業

ボランティアセンターのコーディネートの充実を図るために、コーディネートに関わる関係機関との情報交換・情報共有を実施した。

ボランティア活動や福祉を身近に感じてもらえるよう、学校との協働、連携を模索し、さまざまな事業を通じた働きかけを強化した。

2021年三重とこわか国体にあわせて開催される全国障害者スポーツ大会（三重とこわか大会）へ向け、多くの市民に障害者スポーツの魅力を知っていただく講座を企業や関係団体と連携して開催した。

- ・日常生活自立支援事業

三重県社会福祉協議会の委託を受けて三泗地域（本市、朝日町、川越町）の基幹的社協として、日常生活自立支援事業を実施した。福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預かりなどの支援を行った。

○障害者福祉関連事業

障害者福祉関連 4 施設（共栄作業所・たんぽぽ・あさけワークス・障害者福祉センター）は、平成 26 年度から平成 30 年度までの 5 年間の 5 年目最終年度の指定管理者として、引き続き管理・運営し、サービス向上と経費削減に努め、事業に取り組んだ。

また、管理業務を円滑に実施し、業務の調整及び情報の交換を図るため、市障害福祉課と施設連絡調整会議を 12 回開催した。

平成 30 年度は、第 4 期の指定管理者をめざして、「特定団体に対する指定申請」をし、結果、令和元年度（平成 31 年度）から令和 5 年度までの 5 年間、指定管理者として、社会福祉協議会が障害者福祉関連 4 施設を管理運営することが決定した。選定にあたり、いただいた意見や評価をふまえ、市障害福祉課と市の施設としての改善点に取り組んでいく。

○高齢者福祉関連事業

中地域包括支援センター・くす在宅介護支援センターは、本人・家族、地域住民等からの様々な相談を受け、相談内容に応じた情報提供や個別支援を行った。担当地域での地域ケア会議や医療・介護連携地域ケア会議に参画・開催し、地域課題の発見や解決方法の検討を行うとともに、認知症や介護予防事業にも取り組み、地域包括ケアシステムの構築に努めた。

介護保険サービス事業においては、本人や家族のニーズに即したサービスや支援が提供できるように努めた。また、安定的な運営ができるよう利用者確保のため、地域の行事等に積極的に参加し事業の P R 機会を増やした。

平成 30 年度事業報告の詳細は、以下のとおり。

総務課

1. 法人運営事業

(1) 第 5 次四日市市地域福祉活動計画の推進

地域福祉活動計画推進のため、社協マン座談会を各事業所で開催し、日頃の業務上の課題を話し合うとともに、四社協バージョンアッププロジェクト始動の調査及びモデル事業施行のための準備等を行った。

(2) 職員研修の実施

職員の資質向上のため、全国社会福祉協議会、三重県社会福祉協議会等が主催する派遣研修に 112 回、延べ 171 人を派遣した。また、本会主催研修の全体研修（意思決定支援に関する研修や交通安全研修など）、所属長研修（各施設長等を対象）、新規採用職員研修、各職場研修、人権研修や市職員研修など 6 回、延べ 220 人が受講した。

(3) 福祉サービス相談窓口の開設

市社協が提供する福祉サービスに対する利用者の満足度を高めるとともに、利用者の権利を擁護し、利用者が福祉サービスを快適に利用することができるよう支援するため、福祉サービス相談窓口を開設した。

要求が 2 件あったが早急且つ丁寧な対応を行い、全て納得いただき解決した。（前年度 要求 7 件）

●相談受付状況

種別	N O	所属名	申出人 及び分類	申出内容	対応及び結果
要求	①	あさけ ワークス	利用者の家族 (母) 個人情報保護	送迎中の事故等で第三者に漏れる可能性があるため、個人情報記載された書類は本人にも配布しないでほしい。	書類は市障害福祉課に毎年提出する「障害福祉サービス訓練給付費申請書」。利用者及び家族の利便性を考慮し、昨年度のコピー(本人了承済)を本人に手渡している。 その旨を申出人に説明し、納得は頂いた。当該利用者については、コピーを渡さないことで解決に至った。
要求	②	ゆりかもめ	利用者本人 金銭の 盗難疑惑	デイサービス通所日の入浴中に、財布から現金を盗まれたと思う。どのように対応してくれるのか。	当日担当した職員には事実確認を行うも心当たりなし。 以前から、利用者には貴重品は持参しないようお願いしており、万が一持参された際は事務所で預かることとしている。申出人の妻は、ゆりかもめのルールを守らない本人が悪いとの認識。申出人の疑いは完全には消えていないが、今後は財布を持参しないことや、当面入浴しないことで解決に至った。

(4) BCP（事業継続計画）の推進

日時	実施内容
1月29日(火)	BCP訓練(災害ボランティアセンター緊急対策会議も同時に行う) 南海トラフ大地震が発生し、四日市市では震度6強という想定で訓練を行った。被害想定に基づいた安否確認及び自宅等の被害状況を調査し、被災時に出勤するにはどんな方法・経路、どの程度の時間がかかるのか調査実施訓練を行った。また、各事業所からの被害状況の報告様式の見直しや、各事業所においてBCP業務マニュアルの見直しを行った。

(5) 団体活動支援

三重県共同募金会四日市市共同募金委員会、四日市市民生委員児童委員協議会連合会、四日市市地区社会福祉協議会連絡協議会、四日市市老人クラブ連合会、四日市市遺族会の事務局及び、四日市母子寡婦福祉会の運営支援を行った。

2. 市民啓発事業

市社協の事業の紹介や、市民にとって必要な福祉情報等をわかりやすく提供するため、広報紙を発行するとともに、四日市市社会福祉大会を開催し、市民の福祉意識の向上に努めた。

本会ホームページは、随時、内容の更新を行い、タイムリーな情報提供に努めた。

(1) 社協だより「かけはし」の発行

市社協事業の紹介及び報告、福祉情報の提供など市社協活動や福祉理解の促進、福祉啓発を目的として発行した。発行回数は年3回、各号約140,000部を市内全戸に配布した。同時に、希望される視覚障害者に、点訳かけはし(各号15部)、録音かけはし(カセット版各号7本、CD版各号15枚)を発行した。録音かけはしについては、より多くの人に利用してもらうため第146号から音声データをホームページに掲載した。また、財源確保のため広告募集を行い、掲載した。

発行日	内 容
6 月 20 日 第 144 号	〔表紙:おもちゃ図書館まつりの案内、「はじめてのボランティア説明会」〕全 4 頁 ・平成 30 年度予算、及び平成 29 年度決算の報告 ・平成 29 年度会費のお礼 ・障害者福祉センターだよりWITH(自主サークル、失語症パートナー交流会、講習・講座のご案内) など
10 月 20 日 第 145 号	〔表紙:四日市市社会福祉大会の案内、赤い羽根共同募金案内〕全 4 頁 ・地域福祉課より(四社協ゼミナールの案内) ・障害者福祉センターだよりWITH(第 37 回四日市市障害者大会、難聴者・中途失聴者教室のご案内) など
2 月 20 日 第 146 号	〔表紙:赤い羽根共同募金運動のお礼、歳末たすけあい見舞金贈呈式の報告〕全 4 頁 ・ボランティアセンターより(ボランティアキャンペーンのお知らせ) ・指定管理施設活動紹介 ・障害者福祉センターだよりWITH(障害者デイサービス利用者募集) など

(2) 四日市市社会福祉大会の開催

永年にわたり、社会福祉活動に功績のあった個人及び団体を表彰するとともに、講演をとおして広く市民に福祉について考える場を提供し、福祉の意識高揚を図った。

- ・日 時 平成 30 年 10 月 27 日 (土) 午後 1 時 30 分～4 時
- ・場 所 四日市市文化会館 第 1 ホール
- ・参加者 約 700 名
- ・福祉功労者表彰 46 名 9 団体
 - ・四日市市長表彰 1 名・3 団体
 - ・四日市市長感謝 3 名
 - ・四日市市長特別表彰 1 名・1 団体
 - ・四日市市社会福祉協議会会長表彰 22 名・1 団体
 - ・四日市市社会福祉協議会会長感謝 19 名・1 団体
 - ・三重県共同募金会四日市市共同募金委員会会長表彰 3 団体

- ・講 演 であい ふれあい ひびきあい ～「のど自慢」12 年の旅から～
- ・講 師 元NHKのど自慢司会者 宮川 泰夫 氏

(3) ホームページの更新

市社協の組織や事業とともに、職員募集情報や各種講座案内等の記事の掲載を行い、タイムリーな情報を提供できるよう努めた。

【市民啓発事業 まとめ】

社協だより「かけはし」は、記事を見て社会福祉大会やボランティアの説明会に参加された人もあり、市民の福祉啓発や市社協のPRに成果がみられたが、掲載内容が定型化してしまっているため、次年度以降市民に興味をもってもらえるような記事の作成に努めたい。

「四日市市社会福祉大会」の式典では、『このような機会があると意欲も新たに頑張ろうという気持ちになる』『たくさんの方が表彰されて感動した。活動の励みにしたい』、講演では、『自分が住む地域の人を大切にしたいと思った』『講演を聴いて、今のボランティア活動に一層励みたいと思った』など参加者の日頃の活動に意欲につながる大会を開催することができた。しかし、全体として『参加人数が少なく残念』という声が目立った。近年、社会福祉大会の参加者は減少傾向にあるため、ニーズに基づく講演会や、周知の充実などに努めたい。

引き続き、市民の福祉啓発や市社協活動のPRを行っていききたい。

3. 資金貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業の実施（三重県社会福祉協議会委託事業）

低所得者、障害者、高齢者を対象に貸付の相談、申請、返済などの窓口を担当した。

※は貸付期間が複数年になるもの

資 金 の 種 類	貸付件数	貸 付 金 額
※教育支援費・就学支度費	5 件	3,999,000 円
福祉費(転宅費)	1 件	304,000 円
福祉費(住宅改修)	1 件	738,280 円
福祉費(エアコン購入)	1 件	167,000 円
福祉費(出産費)	1 件	200,000 円
総合支援資金(生活支援費)	1 件	320,000 円
緊急小口資金	7 件	700,000 円
合 計	17 件	6,428,280 円
29 年度	22 件	3,896,650 円

(2) 資金貸付事業の実施

福祉金庫（A）は生活保護受給者及び生活保護申請中、（B）はその他の低所得者を対象に市保護課と、国民健康保険高額療養費は市保険年金課、介護保険資金貸付は市介護・高齢福祉課と連携して貸付業務を行った。生活保護受給者及び生活保護申請者を除く世帯への貸付が約6割減となった。

※平成30年度から生活保護申請中世帯については、福祉金庫（A）に変更。

また、福祉金庫（B）の貸付限度額を30,000円から15,000円に変更。

	30 年度		29 年度	
	件数	金額	件数	金額
福祉金庫 (A)	418 件 内訳: 生活保護受給者 277 件 生活保護申請中 141 件	5,446,000 円	250 件	3,325,062 円
福祉金庫 (B)	48 件	720,000 円	289 件 内訳: 連帯保証人あり 126 件 生活保護申請中 163 件	7,418,000 円
合 計	466 件	6,166,000 円	539 件	10,743,062 円

(参考)

	30 年度	29 年度
生活保護受給者	277 件	250 件
生活保護申請者	141 件	163 件
上記以外の低所得者	48 件	126 件

	30 年度		29 年度	
	件数	金額	件数	金額
国民健康保険高額療養費	15 件	3,324,000 円	2 件	190,000 円

	30 年度		29 年度	
	件数	金額	件数	金額
介護保険資金貸付	2 件	80,676 円	1 件	177,273 円

4. 財源確保

(1) 財政基盤の安定化

①社会福祉協議会会費

30 年度	会費の種類	会員数	会 費
	一 般 会 員	1,078 人	1,128,500 円
	団 体 会 員	343 団体	3,430,070 円
	合 計	—	4,558,570 円
29 年度	会費の種類	会員数	会 費
	一 般 会 員	889 人	989,500 円
	団 体 会 員	338 団体	3,355,395 円
	合 計	—	4,344,895 円

②善意の基金

香典の一部、チャリティ募金等を社会福祉のために、という趣旨の寄付を積み立てた。

年 度	積立額	基金(年度末現在)
30 年度	4,175,618 円	180,170,419 円
29 年度	3,224,903 円	175,994,801 円

③寄付金等

(ア) 現金

	30 年度	29 年度
香典の一部、チャリティバザー等	4,175,618 円	3,223,355 円
上記以外の寄付 (企業から施設への指定寄付、NHK歳末金等)	65,000 円	96,200 円
合 計	4,240,618 円	3,319,555 円

(イ) 物品寄贈

白い小箱（災害用非常食品）、生活困窮者支援用食糧、福祉車両配備助成（日本財団）、商品券など

④資産運用

自主財源の確保を目的に、本会資産運用規程（第 39 条第 2 項余裕資金の運用）に基づき、長期国債を中心とした資産運用を行い、今年度は利息により 3,362,150 円の利益があった。

(2) 共同募金運動（三重県共同募金会四日市市共同募金委員会事業）の推進

10 月 1 日、6 日、7 日に PR セレモニー・街頭募金を行った。平成 29 年度に引き続き、こにゅうどうくんバッチを 3,000 個作成し啓発した。

30 年度	種 別	目標額	実績額	達成率
	一般募金	44,104,000 円	37,729,263 円	85. 54%
	歳末たすけあい 募金	900,000 円	829,366 円	92. 15%
	合 計	45,004,000 円	38,558,629 円	

29 年度	種 別	目標額	実績額	達成率
	一般募金	43,733,800 円	38,286,877 円	88. 26%
	歳末たすけあい 募金	900,000 円	2,094,635 円	187. 55%
	合 計	44,633,800 円	40,381,512 円	

(3) 収益事業

①「喫茶ふれあい」の経営

	30 年度	29 年度
営 業 日 数	251 日	247 日
年 間 総 収 入	10,183,174 円	9,468,969 円
1 日 平均利用数	約 48 名	約 40 名
1 日 平均売上額	40,570 円	38,336 円

②「総合会館売店」の受託運営

	30 年度	29 年度
営 業 日 数	261 日	250 日
年 間 総 収 入	29,820,215 円	29,483,819 円
1 日 平均利用数	約 235 名	約 236 名
1 日 平均売上額	114,253 円	117,935 円

法人運営事業繰入	1,100,000 円	700,000 円
----------	-------------	-----------

5. その他の福祉事業

(1) よっかい福祉の店

社会福祉施設利用者や在宅高齢者などの手作り作品を、販売ボランティアの協力を得て、販売した。また、地区文化祭等行事、その他各関係機関のご協力により、展示即売会を実施した。昨年度 23 回に対し、19 回の参加となった。

新規イベントの参加や、市総合会館売店での展示販売を実施した。

年度	常設店	年間売上実績
30 年度	市総合会館 1 階 開店日数(年間)231 日	4,126 点 1,624,050 円
29 年度	市総合会館 1 階 開店日数(年間)240 日	3,919 点 1,570,360 円

(2) 生活困窮者支援事業

平成 27 年 7 月から三重県社会福祉協議会が実施する「みえ福祉の『わ』創造事業」に加わり、以下の支援を行った。また、平成 29 年度に引き続き、20 口(200,000 円)拠出を行った。

①生活困窮者支援緊急食糧提供事業（フードバンク）

延べ 106 名、141 件 （29 年度：延べ 92 名、114 件）

②生活困窮者就労活動支援事業

交通費助成:59 件 （29 年度:15 件）

(3) 実習生等の受け入れ実績（総数）

各事業所において将来の福祉を担う人材育成を目的に、福祉専門職（社会福祉士・介護福祉士）や、看護師、教職員または、小学校・中学校福祉体験、四日市市新規採用職員研修等を受け入れ、本会が持つ機能、役割などについて学ぶ機会を提供した。

また、総務課では、三重県立盲学校の生徒 1 人の職業体験実習の受け入れを行った。

種 別	人 数
社会福祉士	2 人
介護福祉士	4 人
看護師	8 人
教員免許	7 人
市新規採用職員	34 人
小・中職場体験	6 人
小・中福祉体験	56 人
その他(北勢きらら学園、三重県立盲学校、三重大 学教育学部附属特別支援学校、ビューティタッチセ ラピー資格、教職員福祉体験等)	6 人
合 計	123 人
29 年度	153 人

6. 職員の安全衛生事業

○第1回衛生委員会

実施日・場所 平成30年6月29日(金) 市総合会館 4階技能習得室

内容：平成30年度衛生委員会の実施計画案について

第91回「全国安全週間」に伴う本会の取り組みについて

産業医講話「熱中症・食中毒・夏季感染症」

○第2回衛生委員会

実施日・場所 平成30年9月14日(金) 市総合会館 3階社会適応訓練室

内容：産業医による職場巡視(中央老人福祉センター)を当日実施

「職場の安全衛生について」巡視のチェックポイントの解説(産業医)

「全国労働衛生週間」の実施に合わせ、本会も10月1日～7日「ゼロ災活動」を実施し、全職員にワッペンを配布、啓発

○第3回衛生委員会

実施日・場所 平成30年12月14日(金) 市総合会館 3階社会適応訓練室

内容：安全衛生委員によるおもちゃ図書館・療育訓練室・会議室・社会適応訓練室の「職場巡視」

○第4回衛生委員会

実施日・場所 平成31年3月8日(金) 市総合会館 4階会議室

内容：平成30年度「職員健康診断結果」を基に産業医の講評

ストレスチェック結果報告、産業医の講評

12月14日の職場巡視結果報告

平成31年度本会の「年間安全衛生管理計画(案)」

「安全衛生に関する基本方針」及び「年間安全衛生目標・スローガン」の決定

地域福祉課

1. ふれあいのまちづくり事業

生活支援コーディネーターを3名配置し、「市エリア」「ブロックエリア」「地区エリア」「小地域エリア」の4つのステージに区分して事業を展開した。それぞれのステージで協議体の設置を支援するとともに、課題を整理する中で地域包括ケア実現にむけた取り組みをすすめた。

住民主体サービスの新規立ち上げについて、地域に働きかけるとともに活動中の住民主体サービスについて持続可能な事業展開が図れるようにスーパーバイズを行った。ふれあいいきいきサロン+助け合い活動という新しい小地域福祉活動について今後地域に展開できるように調査研究をすすめた。

また、ふれあいいきいきサロン推進員を2名配置し、自宅から歩いていける場所で介護予防活動や交流の場をすすめるとともに、地区ごとのふれあいいきいきサロンが集い、意見交換を行うふれあいサロン連絡会を開催した。ふれあいいきいきサロンを中心に小地域でソーシャルアクションを行うしかけを展開してきた。

各地区民生委員児童委員協議会へ参画し、地域の福祉課題の解決に向けた活動を支援した。

総合相談事業では、気軽な市民の福祉相談の窓口として、さらには処遇困難事例等への相談体制も充実していくなど包括的な福祉相談の担い手として関係機関との連携を密に取りながら問題解決や福祉ニーズの把握に努めた。

(1) 地区社会福祉協議会支援

地域において、地域福祉活動を推進していく基盤となる地区社協との連携強化に努めた。

①地区社協への運営費等の助成

- (ア) 地区社協組織活動補助金…1地区 40,000円。支部（校区）社協を組織化している地区については1支部（校区）社協につき8,000円を加算。
- (イ) 地区社協事業費補助金…地区の世帯数による
- (ウ) 地域福祉活動メニュー事業補助金…実績方式
- (エ) 共同募金交付金…前年度の共同募金の目標額の21%（実績が目標額に達しない場合は実績額）と目標超過額の90%

②地区社協指導者研修会等の実施

- (ア) 地区社協連絡協議会 全体会議・・・101名出席
平成30年6月29日（金） 勤労者・市民交流センター ホール
内容 1. 会長・副会長の選任について
2. 市社協評議員の選出について
3. 指導者研修会の開催について
4. 市社協 補助金について
5. 情報提供・出前講座の案内
 - 「四社協福祉ゼミナール」について
 - 「市社協 出前講座」について
 - 「ボランティア活動保険」について
- (イ) 地区社協リーダー研修会／補助金説明会・・・122名出席
平成31年3月18日（月） 市総合会館8階 視聴覚室
内容 1. 平成31年度補助金について
2. 研修「これから求められる地域福祉活動について」
大阪教育大学教授 新崎 国広 氏

(ウ) 地区社協ブロック別 会長会議

平成 30 年 8 月 20 日 (月) : 北部、8 月 23 日 (木) : 中部、8 月 23 日 (木) : 南部

- 内容
1. 四日市市社協事業報告について
 2. 全体事業 (グラウンドゴルフ大会) について
 3. ふれあいいきいきサロン委託金の変更について
 4. 情報交換

平成 31 年 1 月 30 日 (水) : 南部、31 日 (木) : 北部、31 日 (木) : 中部

- 内容
1. 全体事業 (グラウンドゴルフ大会) について
 2. 平成 31 年度補助金等の変更 (ふれあいいきいきサロン委託金) について
 3. リーダー研修会について
 4. 意見交換

(エ) 全体事業 (グラウンドゴルフ大会) の開催

実行委員会の開催 : 平成 30 年 11 月 22 日 (水)

グラウンドゴルフ大会・・・参加人員:243 名 (北部 70 人、中部 : 91 人、南部 82 人)

平成 31 年 3 月 12 日 (火) 四日市ドーム

(オ) 小地域福祉活動ホームページの開設

市社協ホームページ内に「小地域活動応援サイト」を運営

③福祉協力員等活動費補助事業の実施

地域福祉活動の推進者である福祉協力員等の活動のより一層の促進を図るため、運営費 20,000 円、活動費として福祉協力員等 1 名につき年間 3,000 円 (上限 80,000 円) を補助し、活動を支援した。

・実施地区 (12 地区)

共同、中央、橋北、羽津、富田、下野、三重、桜、川島、神前、内部、大矢知

・地域ゼミナールの実施 (12 地区)

福祉協力員により各地域で福祉勉強会を実施した。

④地域福祉活動メニュー事業の実施

平成 8 年度から地区社協に対する具体的な支援として「地域福祉活動メニュー事業」を開始した。平成 10 年度からは、対象を小学校区に組織化されている地区社協に拡大し、平成 12 年度からは、高齢者などの介護予防や地域での交流・出会い、憩いの場としての「ふれあいいきいきサロン」活動をすすめていくための運営費や、新規に活動を立ち上げる資金を支援するメニューを加えた。また地区社協の取り組みに際し、各地区の福祉活動状況や地域特性を踏まえて、それぞれの地域課題を明らかにし、事業の企画段階から市社協職員が参画して、支援を行ってきた。

(メニュー内容)

- ・学習・啓発事業
- ・交流事業
- ・ふれあいいきいきサロン事業

●学習・啓発事業 10 地区 (支部を含む) 14 メニュー (29 年度 : 13 地区 21 メニュー)

地区	事業名	内容	人数
共 同	視察研修	障害福祉サービス事業所「清流園」への視察	35
	福祉勉強会	演題「助け合いのしるし ヘルプマーク」講師を招いての勉強会	38
富洲原	福祉講演会	演題「地域包括ケアシステムとは何を指すものか？」	36
八郷西	環境教室 1	子ども陶芸教室	14
	環境教室 2	子ども陶芸教室	14
桜	史跡めぐり	桜地区内の史跡をめぐり郷土歴史学習	40
	バードウォッチング	身近な自然を観察して環境学習	40

河原田	環境教室	講師を招いて講演会とキーホルダー作り	32
日 永	環境教室	講師を招いて講演会とコルク板で作るボード作成	17
県	青少年育成講演会	演題「不登校の現状と取り組みについて」	50
常磐	福祉学習会	聴覚障害についての勉強会 6 回講座	83
塩浜	介護予防講座	演題「ノルディックウォーキングとは」講師を招いての勉強会	40
	環境講座	演題「資源のリサイクルと障害者雇用の実際について」	40
神前	福祉講演会	四日市市社会福祉協議会職員による福祉講演会	25

●交流事業 20 地区（支部を含む） 44 メニュー (29 年度：20 地区 44 メニュー)

地区	事業名	内容	人数
共 同	ぬくもりの集い	ひとり暮らし高齢者を招いて介護予防、いきいき百歳体操、楽しく脳トレ	80
	ふれあい広場	地域の関係機関が一同に会し、交流するイベント。小中学校のブラスバンドや諏訪太鼓の演奏	800
	ラジオ体操講習会	ラジオ体操を正しく身につけ健康増進につなげる	60
同 和	ひとり暮らしの集い	ひとり暮らし高齢者を招いてのフラダンス、フルート演奏	30
同和・中央	三世代交流もちつき大会	中央地区、同和地区の共催事業。ゲーム、もちつきなど	250
中 央	ひとり暮らしの集い	ひとり暮らし高齢者を招いての交流会、出前講座、ロコモ体操	55
港	ひとり暮らしの集い	ひとり暮らし高齢者を招いての交流会、音楽鑑賞、自治会との交流	66
	ふれあい広場	地域の方のふれあいイベント、福祉講演会、お菓子づくり、うどんの振る舞いなど	390
浜 田	ひとり暮らしの集い	ひとり暮らし高齢者を招いての交流会	81
	餅つき交流会	地域のだれでもが参加できる交流の場として餅つきやゲームなど	500
海 蔵	小学生と七夕交流会	海蔵小学校の児童と高齢者の交流事業。七夕の飾りつけなど	140
羽 津	ひとり暮らしの集い	ひとり暮らし高齢者を招いての交流会、諏訪太鼓演奏やリズムメイトによる歌と演奏	119
富洲原	グラウンドゴルフ大会 春	地域住民を対象としたグラウンドゴルフ大会	90
	グラウンドゴルフ大会 秋	地域住民を対象としたグラウンドゴルフ大会	100
	ウォークラリー大会	地域住民を対象としたウォークラリー大会	98
八郷	みんなで楽しくクッキング 1	料理、和菓子作りと交流	46
	みんなで楽しくクッキング 2	料理、和菓子作りと交流	37
	みんなで楽しくクッキング 3	料理、和菓子作りと交流	50
	みんなで楽しくクッキング 4	料理、和菓子作りと交流	33
県	ふれあい文化祭	地域住民全体事業。講演会、大道芸、作品展示、サークル発表等	500
	綱引き選手権大会	地域住民全体事業。綱引き後ぜんざいで交流。	230
桜	リフレッシュ健康体操	高齢者の転倒予防、介護予防や認知機能向上のためのエクササイズ	33
	さくらふれあいまつり	福祉施設との交流会。手品、歌など	118
川 島	川島町北部第一親睦会	地域住民を対象としたグラウンドゴルフと昼食会	65
	親睦もちつき大会	ひとり暮らし高齢者との交流	100
神 前	カラオケ大会	高齢の方でカラオケを楽しまれている方の発表会	64
	盆おどり大会	地域住民全体事業。盆踊り、屋台、カラオケ等	359
	グランドゴルフ大会	地域住民を対象としたグランドゴルフ大会	132

四 郷	共栄作業所との交流会	福祉施設との交流	90
高花平	保育園児との交流会①	高齢者と保育園児との交流	20
	保育園児との交流会②	高齢者と保育園児との交流	21
	保育園児との交流会③	高齢者と保育園児との交流	20
	幼稚園児との交流会④	高齢者と幼稚園児との交流	21
	幼稚園児との交流会⑤	高齢者と幼稚園児との交流(焼き芋会)	40
	ふれあい音楽会	地域の方を対象とした音楽会	26
	地域交流折り紙教室	高齢者と児童との交流	20
常磐	住民との餅つき大会	地域住民との交流	50
河原田	障害者ふれあいの集い	在宅障害者の方を招待して遠足	18
	梅林ウォーキング大会	ウォーキングを通じて地域住民の健康と親睦	34
日 永	ひとり暮らし高齢者の集い	ひとり暮らし高齢者を招いての交流	422
塩浜	ふくしサロン	ゲームや手作り遊びで世代間交流	120
	園児と高齢者のつどい	太鼓や出し物で園児と高齢者の交流	82
	新春落語会	落語を通して世代間交流	94
楠	ふれあい農園	農作業を通して世代間交流	20

●ふれあいいきいきサロン 34 地区（支部を含む） 633 サロン （29 年度：33 地区 576 サロン）

	地区名	回数	参加者数	サロン名	サロン数
1	共 同	429 回	3,882 人	いろは会(グランドゴルフ、健康体操、絵手紙、イベント・企画)、ふれあいイキイキサロン、サロン時計台(編み物、イベント・企画、ラジオ体操)、なでしこ会カフェ、楽描サロン	10
2	中 央	34 回	632 人	中央地区ふれあいサロン、新町おしゃべりサロン、ほほえみクラブ	3
3	港	21 回	517 人	港いきいきサロン、笑和ホネホネクラブ	2
4	浜 田	265 回	3,607 人	笑話会、ふれあいおはなし会、ロコモーショントレニングの会、グランドゴルフ愛好会、浜田サロン、曙一丁目サロン	6
5	同 和	46 回	677 人	同和地区社協カフェサロン、あんずの会(イベント、手芸、歌、体操、茶話会、)	6
6	橋 北	12 回	594 人	にこにこサロン日曜給食サービス	1
7	海 蔵	411 回	5,152 人	パステルアート、折り紙サークル、キルト、あみもの、体操教室、おどり愛好会、パソコン教室、カラオケ愛好会、川柳の会、コーヒーサロン、グランドゴルフ、茶飲み友の会、音楽療法、ピンポン、お達者ストレッチ、野田みどりサロン、お達者クラブ	17
8	羽 津	48 回	798 人	エミ(笑み)の会、ふれあいサロン「仲良し会」、城山・いきいきクラブ、サロンほんごう、はづ夢	5
9	富洲原	135 回	4,261 人	いきいきサロン転ばぬ先のオモリ、松原さらく会、天カ須賀さらく会	3
10	富 田	717 回	10,430 人	いきいきサロン願入寺、すみれサロン、歌おう会、お達者クラブ、なかよしクラブ、富田グランドゴルフ愛好会、カラオケクラブ、おやじサロン、ハッピーサロン体操、ハッピーサロンそろばん、北鵜グランドゴルフ愛好会、茂福ワイワイヨガサロン、長生き健康クラブ、百歳体操西町クラブ、北勢グランドゴルフ同好会、茂福いきいきクラブ、北村いきいきサロン百歳体操、	17
11	大矢知	1,200 回	17,565 人	松寺寿会、松寺お達者クラブ、蒔田グランドゴルフ、なごみクラブ、松寺ふれあい手芸クラブ、十志町ものづくりの会、十志町健康づくりの会、御殿まりをたのしむ会、松寺若葉会グランドゴルフ、いきいき百歳体操、エンドレス、グランドゴルフ愛好会、蒔田なかよしサロン絵手紙、蒔田なかよしサロン手芸・写経、蒔田なかよしサロンちぎり絵、蒔田なかよしサロンイベント・企画、蒔田たいそうクラブ、知りたい輪ものづくり、知りたい輪イベント、川北キングクラブ、川北キンググランドゴルフ、下之宮そよ風サロン、下之宮ハピネスサロン卓球、下之宮ハピネスサロンいきいき百歳体操、下之宮ハピネスサロ	37

				ンフラダンスの会、下之宮ハピネスサロン健康体操教室、下之宮ハピネスサロン麻雀、下之宮ハピネスサロンカラオケを楽しむ会、歌を歌って元気になる会、陣屋いきいき体操、いきいき古家、松寺百歳体操、下之宮町ハピネスサロン英会話サロン、下之宮ハピネスサロンイベント・企画、下之宮町ハピネスサロン将棋サロン、いこいの部屋、下之宮町ハピネスサロンそば打ち、下之宮町ハピネスサロンコーラス	
12	八 郷	502 回	8,606 人	蒔のとう、きらく、ダム之歌の会、すいせん、ひまわり、ふれあいサロン、カフェサロンこすもす、あゆみの会、ぼちぼち庵、グー・チョコキ・パー、地域活動センター虹の会「虹カフェ」、平津新町おしゃべりカフェ、太極拳サークル、ベルの会、伊坂台お達者クラブ、平津新町パソコン広場、八郷元気かい！、平新お達者クラブ、平新歌のもくいち、平津新町詩吟クラブ、中村町お達者クラブ、さくら手芸教室、スマイリーズ、おたのしみ会、心身ストレッチ健康、サークル平新、山分町健康づくり教室、山分いきいき体操、さるびあ会	28
13	八 郷 (西)	411 回	3,698 人	たんぽぽの会、八郷西もみじクラブ、暁風会、八郷西陶芸クラブ、トマリ会、ひまわり会コーラス、ひまわり会イベント・企画、ひまわり会カフェ、睦会 生け花、睦会 イベント・企画、和の会、さくらの会、ふれあいランチタイム	13
14	下 野	1,474 回	20,553 人	卓球本間グループ、コーラスサークル「和み」、あさけが丘一丁目卓球愛好会、あさけが丘グランドゴルフ愛好会、札幌町グラウンドゴルフ愛好会、北山町ワイワイクラブグランドゴルフ愛好会、北山町ワイワイクラブカラオケ愛好会、西大鐘グラウンドゴルフ愛好会、八千代台絵手紙教室、やちよ俳句会、Asakegaokaらくらくサロン、あさけが丘憩いのサロン、下野活き域ネットあさけが丘、下野活き域ネット八千代台、下野活き域ネット山城町、北山介護予防(KKY)サロン、あさけが丘カラオケ歌おう会、朝明町健康吹き矢、朝明町グラウンドゴルフクラブ、健康レクリエーションクラブ、山城町卓球サークル、山城町グラウンドゴルフクラブ	22
15	三 重 (中央)	655 回	10,868 人	輝きサロン川向グラウンドゴルフクラブ、生桑町グラウンドゴルフクラブ、東坂部町グラウンドゴルフ愛好会、山之平GOGO会、輝(かがやき)サロンおしゃべり・お茶会、輝(かがやき)サロン健康マージャン、輝(かがやき)サロン卓球・カラオケ、御館グラウンドゴルフクラブ、生桑台カラオケサロン、生桑台伊勢型紙サロン	10
16	保々	293 回	5,175 人	はつらつクラブ、市場町いきいき体操、西村町いきいき体操クラブ、高見台いきいき百歳体操、小牧南いきいき体操クラブ、元気クラブ	6
17	三 重 (西)	1,646 回	24,128 人	三重西ふれあいサロンイベント・企画、結 イベント・企画、結 体操、三重西ラジオ体操同好会、三重西おしゃべりの会、三重三丁目ひだまり交流会、エミ(笑う)の会、三重5丁目ラジオ体操グループ、美里が丘カラオケ愛好会、第2 美里ヶ丘ラジオ体操愛好会、美里が丘体操クラブわかば会、三重六丁目ラジオ体操同好会、なのの会イベント・企画、なのの会お話会、三丁目友好会いきいきマージャン教室、三重団地俳句の会「みはらし」、睦(むつみ)、美里が丘みのりの会、美里が丘マージャン同好会、いきいき90	20
18	三 重 (北)	1,425 回	12,624 人	山之一色町グラウンドゴルフ 愛好会、介護予防の会「さえずり会」手芸、介護予防の会「さえずり会」歌・健康体操、介護予防の会「さえずり会」エンジョイクラブ、GOGO グランドゴルフ男性サークル、GOGO グランドゴルフ女性サークル、大沢台さつき会グランドゴルフ、大沢台さつき会麻雀、大沢台さつき会太極拳、大沢台さつき会歌の会、大沢台さつき会手芸・料理、大沢台さつき会ラジオ体操、大沢台さつき会イベント・企画、大沢台さつき会卓球、大沢台さつき会喫茶サロン、元気サロン 1 丁目、坂部が丘四丁目生き生きクラブグラウンドゴルフ、坂部が丘四丁目生き生きクラブ歌・食事、GOGO ヨガサークル、坂部が丘タウン・パクパク会、坂部が丘百歳塾、などでしこ、一丁目グランドゴルフ愛好会、おじさんのカフェサロン	24

19	大谷台	1,091 回	12,777 人	小杉町グランドゴルフ、小杉ヨガ教室、いきいきサロン小杉新町グランドゴルフ同好会、みゆきヶ丘一丁目自治会いきいき健康サロン」熟年会、みゆきヶ丘一丁目自治会いきいき健康サロン」百人一首、みゆきヶ丘一丁目自治会いきいき健康サロン」読書、いきいきサロン福寿会グランドゴルフ、いきいきサロン・タルサカ、ふれあいいきいきサロン「大空」、いきいきサロン・垂坂グラウンドゴルフ愛好会、いきいきサロン大谷台、南垂坂町シニアクラブ歩こう会、南垂坂町シニアクラブ生花教室、南垂坂町シニアクラブグランドゴルフ同好会、南垂坂町シニアクラブカフェサロン、いきいきみゆき 2、健康体操ひまわりの会、いきいきサロングランドゴルフ、おしゃべり広場、ふれあいいきいきサロンみゆきヶ丘2丁目健康麻雀同好会、みゆきヶ丘 2 丁目囲碁・将棋同好会、絵手紙(桜の会)、唱歌(あじさいの会)、いきいきサロン・大谷台ヨガ、大谷台 2 丁目いきいきサロン長寿会グランドゴルフ、大谷台 2 丁目いきいきサロン長寿会生花、大谷台2丁目いきいきサロン長寿会囲碁、大谷台2丁目いきいきサロン長寿会健康イキイキクラブ、大谷台 2 丁目いきいきサロン長寿会太極拳・フィットネスタイチ、みゆきが丘 1 丁目自治会いきいきサロン百歳体操、今日もげんき会、月一趣味の会、茶飲み友達の会、詩吟を楽しむ会、カラオケ同好会、フラワーデザインを楽しむ会、いきいき垂坂百歳くらぶ、垂坂お達者くらぶ	38
20	県	1,178 回	17,818 人	赤水町グランドゴルフ仲良会、五月会(大正琴)、スイトピー(大正琴)、上海老グランドゴルフ愛好会、上海老手芸クラブ、すまいる、大沢いきいきサロン寿会、大沢手芸鶴の会、大沢いきいきサロンお達者倶楽部、カフェサロン大沢、いきいき体操仲良会、グランドゴルフ仲良会、カラオケ仲良し会、ヨガ仲良会、平尾町ふるさと広場、平尾町グランドゴルフ同好会、栄グランドゴルフクラブ、栄手芸クラブ、北黒江グランドゴルフ愛好会、ハイツふれあいクラブ、ハイツにこにこ会、書・小野小町、ハイツ夢クラブ、あがたハイツグランドゴルフクラブ、ハイツ夢・百歳体操	25
21	桜	281 回	5,076 人	憩いの家 イベント・企画、駅前こいの家、健康体操、桜ボランティア協会駅前憩いの家歌、桜ボランティア協会、駅前憩いの家手芸、山上いきいきサロンパッチワーク、山上いきいきサロン映画、山上いきいきサロンイベント・企画、桜花台ふれあいサロン健康体操、桜南ぽかぽかくらぶ、智積第六イキイキサロン、一色いきいきサロンイベント・企画、一色いきいきサロングランドゴルフ、一色いきいきサロンカフェサロン、ほっとカフェ“ぽかぽか”、桜台 3 丁目交流サロン、桜台PCサロン、さわやかイキイキ教室イベント、さわやかイキイキ教室 体操、ミニデイサービスともだちの輪、健康増進ふれあいサロン桜台バトミントクラブ、桜ボラ協農園	21
22	川 島	716 回	14,008 人	なんぶ熱、けやき台(ゆーらくサロン、カラオケ、グランドゴルフ、カフェサロン)、西部ふれあい会、三滝台(卓球クラブ木曜会、グランドゴルフ倶楽部、サロンふれあい)、川島新町悠遊サロン、さくら熟年会、東部(いきいき楽話会、いきいき水茎会、いきいきクラブ)、やよい会GGC、ちょぼらかわしま(元気サロン、カフェサロン、イベントサロン)、かわしまカフェサロン園、かわしま健康サロン、小生はなみずき会、きさらぎ会、悠彩の里のカフェ、いきいき健康体操、健康体操フレンズ、別山ヨガサークル	27
23	神 前	1,320 回	22,497 人	菅原町ふれあい広場生け花、菅原町ふれあい広場、グランドゴルフ、寺方 GG クラブ、寺一カラオケ愛好会、寺一お達者クラブ、大日 Café サロン、高角町ふれあい広場、高角グラウンドゴルフかきのした、高角町グラウンドゴルフ会、ふれあい笑話会、曾井 YY クラブ、曾井町グラウンドゴルフ、パッチワーク、より曾井サロン、尾平卓球、尾平カラオケ会、尾平どんぐりクラブ、グラウンドゴルフ、尾平町どんぐりクラブお達者クラブ、高齢者「サロン尾平」、上名ヶ丘ふれあい話そう会、上名ヶ丘ふれあいカラオケ、上名ヶ丘ふれあい体操、美里が丘ふれあい広場、美里が丘ラジオ体操同好会、カフェあつ	35

				たかつの、上名ヶ丘卓球同好会、曾井町ピンポンズ、曾井町いきいき体操、寺方町一区いきいき百歳体操美里、なごみサロン、高角げんき会、なあなあの会、笑いヨガ健康体操、曾井町吹き矢クラブ、曾井町カラオケクラブ	
24	常磐	1,097 回	12,505 人	きらめきサロンカラオケ、きらめきサロンストレッチ、きらめきサロン手芸、きらめきサロン生け花、きらめきサロンイベント・企画、きらめきサロンカフェサロン、久保田ふれあいの会楽器、久保田ふれあいの会イベント・企画、西松本ふれあいサロン生け花、西松本ふれあいサロン囲碁、西松本ふれあいサロンイベント・企画、青葉町生き生きサロンピンポン、青葉町生き生きサロンイベント・企画、青葉町生き生きサロングランドゴルフ、青葉町生き生きサロン生花、青葉町生き生きサロンカラオケ、いぐらふれあいの会、まつもとイキイキクラブ青春映画サロン西伊倉、城東シニアクラブ、ときわ三丁目ふれあいサロン大正琴、ときわ三丁目ふれあいサロンイベント・企画、ときわ三丁目ふれあいサロン囲碁・将棋、ときわ三丁目ふれあいサロン太極拳、ときわ三丁目ふれあいサロン体操、ときわ三丁目ふれあいサロンカフェ、ときわ三丁目ふれあい、サロン卓球、ときわ五丁目ふれあいサロン、ふれあいカフェえがお、松本生き生きの会(グラウンドゴルフ)	30
25	四郷 (旧四郷)	387 回	6,772 人	いきいきサロン悠友室山フォークダンス、いきいきサロン悠友室山お達者クラブ、いきいきサロン悠友室山歌の会、いきいきサロン悠友室山介護センター講和、いきいきサロン悠友室山イベント・企画、いきいきサロン悠友室山足裏健康法と食育、ふれあいいきいきサロン「絆」グランドゴルフ、ふれあいいきいきサロン「絆」イベント・企画、出雲の森グランドゴルフ、出雲の森フォークダンス、出雲の森イベント・企画、出雲の森手芸同好会、出雲の森お達者クラブ、出雲の森カフェサロン、小鹿が丘ふれあいいきいきサロン「かのこ」イベント・企画、西日野町ふれあいいきいきサロン、西日野いきいき体操の会、西日野町りんりん体操教室	18
26	四郷 (笹川)	1,376 回	19,795 人	わかさちぎり絵、わかさの会パッチワーク、睦月会(日本画)、わかさ陶芸友の会、わかさおしゃべりカラム、わかさ7丁目女子会、わかさ4丁目おしゃべり、わかさ体操、わかさバランスボール体操、わかさセブングラウンドゴルフ、わかさ民生の会、わかさ会、笹川ボプラの会、桜の会、和みの輪パソコン、和みの輪詩歌朗読会、五号公園ラジオ体操仲間、8丁目グランドゴルフ仲間、村田女子麻雀塾微笑、小物入れ造り微笑仲間、きずなの会微笑、村田男子麻雀塾微笑、手工芸品造り微笑仲間、8 パソ教室微笑、俳句村田塾微笑、体操と映画で集う微笑仲間、唱歌と映画で集う微笑仲間、笹ッパ老人会微笑、サロン食事会微笑、カフェサロン微笑だんだん、新舞踊輝州会、いきいきサロンかがやきカフェ、いきいきサロンかがやき童話を歌う会、いきいきサロンかがやき囲碁・将棋の会、いきいきサロンかがやき手芸・編み物の会、いきいきサロンかがやきカラオケの会、いきいきサロンかがやき料理教室、いきいきサロン健康体操、いきいきサロンかがやき早朝ラジオ体操の会、いきいきサロンかがやきハングル教室、サロンかがやき百歳体操、サロンかがやきイベントサロン、健康マージャン	43
27	四郷 (高花平)	1,243 回	15,436 人	絵手紙教室、いこいっこ囲碁、いこいっこパソコン教室、いこいっこおしゃべり会、いこいっこイベント・企画、いこいっこ和紙人形づくりの会、いこいっこ高花平将棋クラブ、いこいっこカフェ、ミニ福祉教室、生活リハビリお達者教室、小林町 ほほえみ会、小林町ラジオ体操愛好会、高花平ラジオ体操愛好会、高花平グランドゴルフ倶楽部、太極拳同好会、ヨガサークル、小林町カラオケ愛好会、イキイキ高花	18
28	小山田	282 回	4,322 人	山田町高齢者教室、山田町囲碁・将棋、山田町 100 年史を語る会、大正琴小山田琴友会、小山町グラウンドゴルフ、堂ヶ山町グランドゴルフ、西山町はればれクラブ、小山町慶寿会(なごみ会)、鹿間町	14

				元気になる会、ひだまりカフェサロン、山田町(歩こう会)、古民家サロン里山、山田町”楽”、堂々山仲良し会	
29	水 沢	264 回	3,171 人	葉穂の会 水沢、起勢の会、青葉会、絵手紙笑顔の会、そば打ち同好会、水沢茶どころ吟詠会、墨楽会、茶葉一ズ、本町白寿会わろてんか、水沢北谷ニコニコ会、きらら体操	11
30	日 永	1,030 回	20,383 人	えがお、青空サロン、ミニデイサービスふれあい会、元気火曜日会、猿法師ラジオ体操同好会、ひまわり、泊小柳町カラオケ同好会、絵てがみ教室どんぐりの会、南日永ラジオ体操、ついたち会第4 クラブ、前田新町体操教室いきいきサロン、前田新町カラオケ教室いきいきサロン、キラリ小柳、和楽サロン、泊山南部たけクラブ、お達者クラブ、中瀬古クラブ、フォークラブ、泊山崎中部お達者クラブ、カラオケサロン いこい、カフェサロン クローバー、おしゃべりサロン「サルビア」、いこいのサロン とまり木、カフェサロン 和、ひとやすみ ひまわり、南部おしゃべりサロン Jocy 会、カフェ天白、南日永北部百歳体操、前田町東部いきいき百歳体操	29
31	塩 浜	943 回	14,633 人	大里町グランドゴルフ愛好会、川合町いきいき 100 歳体操クラブ、川合町 なかよし会A、しおはまグランドゴルフクラブ、川合町 なかよし会Bほんまち絆サロン、ソルトビーチカフェ、ふれあいの集い、中里町ふれあいサロン、中里町GG若竹会、ふれあい広場 福寿草(B)、ふれあい広場 福寿草(A) グランドゴルフ、ふれあい広場福寿草(A)いきいき会、ふれあい広場福寿草(A)お達者クラブ、馳出町ふれあい広場、馳出町イキイキサロン、磯津町ふれあいサロン、お達者クラブ磯津、お達者クラブ北町、お達者クラブ西町、ポエム小浜いきいきサロン、ポエム小浜(七宝教室)、ポエム小浜GGC、海山道ふれあいサロン、海山道カフェサークル、遊遊倶楽部、海山道町ふれあいサロン、海山道町ふれあいサロン(イキイキ健康体操教室)、大池町竹の子会A、大池町竹の子会B、すみれ会、ふれあいサロン「ほっと」、ふれあいサロン塩浜、スマイル 100、大正琴サークル	36
32	内 部	1,304 回	14,207 人	あったか交流サロン、北小松町ふれあいいきいきサロン、歌の会小古曽教室、小古曽グランドゴルフ愛好会、ニコニコヨガ教室、ハツラツ詩吟教室、ふれあいピンポン、キッチンフレンド、オゴソシスターズ、フラダンスの会、南小松グランドゴルフクラブ、東原 GG クラブ、手芸クラブひなぎく、いきいきクラブ東原、うね女民謡同好会(竹の子会)、采女体操クラブ、ふれあいいきいきサロン”うね女”、采女が丘ラジオ体操と茶話会、北小松町グランドゴルフ同好会、ふれあいいきいきサロンひいらぎ、はぎがおカフェ、イキイキサロン、スマイル、カフェサロンうつべ、采女北 G・ゴルフいこう会、グランドゴルフ・アスカ、グラウンドゴルフ西部、采女南部 G/G クラブ、小古曽ファミリー	28
33	河原田	415 回	7,879 人	いきいきサロンあすなろ会、いきいきサロン貝塚町、いきいきサロンオレンジ、おしゃべりカフェかわらだ、楽しみ広場 3 日会、ほっとサロンオレンジ、いきいき百歳体操大治田、いきいき百歳体操あすなろ、リバーサイド、モリモリマンデー、百歳体操オレンジ、貝塚百歳体操、いきいき内堀	13
34	楠	566 回	8,241 人	栄町街角くらぶ、錦町・昭和町街角くらぶ、南本町街角くらぶ、旭町街角くらぶ、幸町Ⅱ区街角くらぶ、幸町Ⅱ区カフェサロン、吉崎ふれあい街角くらぶ、街角カフェ、開栄町お達者クラブ、東本郷わいわい会、高齢者会議、旭町いきいきふれあいカフェ、憩いのサロン、新浜町街角の集い、新町シニアサロン、カフェとしこ(東町)、早起き会	17

合 計 23,217 回 333,287 人

633

29 年度 20,038 回 297,005 人

576

●子育てサロン 10 地区（支部を含む） 11 サロン

	地区名	回数	参加者数	サロン名	サロン数
1	共 同	42	719	中部スマイル教室	1
2	富 田	16	377	みどりの芝生	1
3	八 郷	20	214	虹の会サロン	1
4	県	20	207	すくすくサロンサルビア	1
5	桜	18	184	のびっこ	1
6	小山田	28	631	子育てひろば	1
7	水沢	60	560	水沢子育てサロン	1
8	内部	22	445	がらがらどんの会	1
9	河原田	12	162	すくすくサロン	1
10	楠	203	1,170	楠ちびっ子サロン、おもちゃ図書館楠	2

(2) 地域コミュニティの推進

地区民生委員児童委員協議会への参画等をとおして、各地域の社会資源や福祉課題の整理を行った。

①生活支援コーディネーター

市域の生活支援コーディネーターと 3 つのブロックに生活支援コーディネーターを配置し、地域包括ケア実現に向けて、拠点事業及び地域ケア会議への出席等を通じて協議体の設置を支援した。

また、住民主体サービス団体の組織化と持続可能な事業展開が図れるよう、スーパーバイズを行った。

各地区で開催される地域ケア会議において、見守りが必要なケースの情報共有を行い、地域包括ケアシステムにおける地域の見守り活動の強化をすすめた。

年 度	関係機関への スーパーバイズ・連携	各種会議への出席	調査業務	地域社会づくり 推進事業
30 年度	1,479 件	315 件	6 件	169 件
29 年度	1,324 件	438 件	13 件	218 件

②四日市市小地域福祉活動事業（拠点事業）の実施

地域包括ケア事業の実施に向けて、拠点を活用したモデル事業を実施した。

(ア) 北地域拠点「よってこ家」（富田地区）

協力員 30 名を中心に毎週金曜日に地域の交流拠点として「カフェサロン」と四日市市ボランティアセンターと連携した取り組みであるボランティア講座「まなびや」を開催した。

運営委員会や協力員のつどいを開催し、地域拠点の在り方について検討をすすめた。

年 度	年間開催日数	開催延べ人数	一日平均参加人数
30 年度	49 日	2,726 人	48.4 人
29 年度	49 日	2,845 人	50.7 人

(イ) 下野地域拠点事業

平成 28 年 4 月から下野・活き域ネットと協定を結び、住民参加型福祉サービスを協働実施。下野活き域ステーションを共同事務所として整備し、平成 29 年度 4 月から総合事業（訪問 B、通所 B）の実施を行っている。総合事業の先進モデル事業として視察の受け入れや講師派遣等を実施した。

視察受け入れ：市内・市外・県外（富田・富洲原、尾鷲市、滋賀県長浜市など）から 14 団体

(ウ) 神前地域拠点事業

神前地区（高角町矢合）の倉庫を無償で借り受け、地域後見サポート事業や日常生活自立支援事業等で支援を行っている生活困窮者に対して、電化製品等を提供する生活困窮家庭支援・リユース事業の拠点とした。

③ふれあいいきいきサロン推進事業及び住民主体サービスの推進

介護予防事業の取り組みとして、ふれあいいきいきサロンに助け合い活動を取り入れる事業について調査研究を行った。また、介護保険制度改正に伴うふれあいいきいきサロン事業への支援策への円滑な移行に対する理解と対応ができるように各地区、各種サロンごとにコーディネートを実施した。

(ア) ふれあいいきいきサロン連絡会の開催・・・31 地区 48 回

各サロンへの情報提供や活動における課題の共有などの意見交換を行った。

(イ) 住民主体サービス団体連絡会議の実施

開催日等	内 容	参加団体
7 月 4 日(水) 市総合会館 7 階 第 3 研修室	「小地域福祉活動における食品衛生等に関するポイントについて」 「営業許可申請について、営業許可申請書の書き方講座」 意見交換会	14 団体 22 名
3 月 26 日(水) あさけプラザ ホール	講演会「地域のふくし力について考えよう！」 市民社会コンサルタント 村上 徹也 氏	9 団体 32 名

④四日市市福祉教育大学

(ア) 四社協福祉ゼミナールの開催

福祉の考え方の基本視点を見つめなおす機会・福祉の最新情報や専門知識を学ぶ場として開講し、ふだんのくらしのしあわせについて考える市民（福市民）の養成を行った。また、福祉協力員の研修の機会も兼ね、興味のある講座のみの参加も可能な形で実施。全体で 24 名の参加があり、福市民として 20 名が登録した。

開 催 日	内 容	参加者
10 月 8 日(月:祝)	「団塊・シニア世代が、主体的に学習&社会貢献することの意義」 大阪教育大学教授 新崎 国広 氏	17 人
11 月 19 日(月)	「これから求められる活動とは・・・介護予防の必要性『いきいき百歳体操』」 四日市市南地域包括支援センター 介護予防推進員 川浦 友紀 氏	18 人
12 月 17 日(月)	「地域包括ケアシステムについて」 四日市市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター	13 人
1 月 21 日(月)	実践報告 『より曾井サロン・暮らしの応援隊』 坂倉 靖夫 氏 『平津新町生活応援隊』 村木 秀行 氏	15 人
2 月 18 日(月)	『これからの「福市民」活動を考えあってみましょう』 皇學館大学准教授 板井 正斉 氏	13 人

(イ) 地域福祉ゼミナールの開催

福祉協力員等が組織化されている 12 地区全てで、地域の福祉課題の共有と解決策を見出すことを目的に座談会を開催した。

(ウ) 専門ゼミナールの開催

開催日等	内 容	参加者
3 月 20 日 (水) あさけプラザ ホール	笑って学ぶ！知って得する！権利擁護講座 第 1 部 成年後見落語「後見爺さん」 落語家 桂 ひな太郎 師匠 第 2 部 対談「成年後見制度を身近に感じよう」 落語家 桂 ひな太郎 師匠 四日市市社会福祉協議会 職員	50 人
3 月 22 日 (金) じばさん三重 視聴覚室	笑って学ぶ！知って得する！権利擁護講座 第 1 部「成年後見制度に関する基礎知識」 第 2 部「成年後見人の業務について」 市川社会福祉士事務所 市川 知律 氏 第 3 部「成年後見センターの業務・相談から支援の流れについて」 知多地域成年後見センター 今井 友乃 氏	27 人

(エ) なるほど出前講座の開催

福祉に関する情報や制度についてわかりやすく情報発信するしくみとして、出前講座を開始した。

【開催 54 回 人数 2,217 名 (29 年度：63 回 3,015 名)】

No	開 催 日	主 催	内 容	人数
1	4 月 12 日 (木)	桜ボランティア協会	役員研修会「地域福祉」	20 名
2	4 月 13 日 (金)	南本町街角くらぶ	南本町街角くらぶ福祉講座	20 名
3	4 月 16 日 (火)	四日市看護医療大学	地域看護活動論(地域診断)	50 名
4	5 月 30 日 (水)	支えあう社会を考える会	成年後見制度を事例で学ぶ	50 名
5	6 月 9 日 (土)	市人権センター	よっかいち人権大学 開講式記念講演	220 名
6	6 月 14 日 (木)	共同地区福祉協力員会	共同地区地域福祉ゼミナール	10 名
7	6 月 20 日 (水)	市子ども会育成者連絡協議会	育成者意見交換会「福祉」について	80 名
8	6 月 21 日 (木)	ぼちぼち会	親亡き後の権利擁護	20 名
9	6 月 22 日 (金)	富田地区社会福祉協議会	福祉部会講演会「地域包括ケア」	50 名
10	6 月 23 日 (土)	桜地区社会福祉協議会	理事役員・委員研修会	80 名
11	6 月 23 日 (土)	四日市大学	四日市大学防災士講座	50 名
12	7 月 6 日 (金)	ユマニテク福祉大学校	Let's ボランティア 踏みだそうはじめての 一歩	25 名
13	7 月 17 日 (火)	三重地区社会福祉協議会	三重地区福祉協力員研修会	40 名
14	7 月 25 日 (水)	市立四日市病院ボランティア ふれあいグループ	ワンランクアップ講座	25 名
15	7 月 26 日 (木)	大矢知学童 1 年生	認知症サポーター養成講座	40 名
16	7 月 30 日 (月)	大矢知学童 2～6 年	認知症サポーター養成講座	69 名
17	7 月 30 日 (月)	三重県社会福祉協議会	シニア世代におけるボランティア活動に ついて	30 名
18	8 月 8 日 (水)	障害者相談支援センター HANA	成年後見人制度勉強会	7 名
19	9 月 8 日 (土)	亀山市井田川北まちづくり協 議会	平津新町生活応援隊の取り組みについ て	30 名
20	9 月 12 日 (水)	きらめきサロン	成年後見制度ミニ講座	20 名
21	9 月 19 日 (水)	かわらだささえ愛ステーション	今、地域に求められる支え合いのしくみ	40 名
22	9 月 19 日 (水)	住友電装(株)総務部	はじめてのボランティア	22 名

23	10月5日(金)	下野・活き域ネット	下野活き域！集まろまいか「災害ボランティアセンターについて」	70名
24	10月7日(日)	三重地区社会福祉協議会	災害ボランティア講座	50名
25	10月9日(火)	旭町ふれあいカフェ	いつまでも若々しく生活するためのポイント	30名
26	10月9日(火)	ふれあいいきいきサロン出雲の森	地域福祉について	38名
27	10月12日(金)	市健康づくり課	ステキ健康サポーター養成講座「ボランティア活動、心構え」	50名
28	10月13日(土)	下之宮ハピネスサロン	終活について考える	20名
29	10月14日(日)	虹の会	地域福祉について	30名
30	10月16日(火)	下野・活き域ネット	下野活き域！集まろまいか「災害ボランティアセンターについて」	70名
31	10月18日(木)	桜ボランティア協会	ボランティア協会に期待すること	50名
32	10月23日(火)	下野・活き域ネット	下野活き域！集まろまいか「災害ボランティアセンターについて」	70名
33	10月26日(金)	JA みえきた	求められる地域福祉活動	90名
34	10月31日(水)	市立四日市病院ボランティアふれあいグループ	ワンランクアップ講座	25名
35	11月4日(日)	橋北福祉協力員	災害ボランティアセンターについて	10名
36	11月4日(日)	四日市市立博物館	天文ボランティア養成講座 ボランティアとは	30名
37	11月15日(木)	傾聴ボランティア『四傾聴』	自分を振り返ることの作法の大切さ	20名
38	11月16日(金)	神前地区社会福祉協議会	福祉部委員研修	25名
39	11月21日(水)	幸町Ⅱ区街角くらぶ	いつまでも若々しく生活するためのポイント	34名
40	11月24日(土)	ふれあい広場福寿草(B)	健康講座「楽しく冬を迎えましょう」	32名
41	11月25日(日)	内部地区自主防災隊	災害ボランティアセンター設置運営	60名
42	11月27日(火)	食生活改善推進委員協議会	ステップアップ栄養教室「災害時の備えについて」	55名
43	11月29日(木)	亀山市社会福祉協議会	亀山市ボランティア養成講座	50名
44	12月2日(日)	三重県立北星高校	福祉と国際理解「災害とボランティアについて」	20名
45	1月13日(日)	海蔵地区福祉協力員会	福祉講座	20名
46	1月19日(土)	笹川5丁目自治会	今、地域に求められる福祉活動についてⅠ	40名
47	1月19日(土)	笹川4丁目自治会	今、地域に求められる福祉活動についてⅡ	20名
48	1月23日(水)	四日市市シルバー人材センター	権利擁護のしくみと必要性	30名
49	1月29日(火)	四日市NPOサポーターズ	災害ボランティアセンターの役割を学ぼう	20名
50	2月19日(火)	城山・いきいきクラブ	楽しい福祉の話と健康づくり	15名
51	2月20日(水)	中央地区社会福祉協議会	災害ボランティアセンターについて(福祉協力員研修)	20名

52	2月23日(土)	市危機管理室	四日市市防災大学「ボランティア運営について」	30名
53	2月27日(水)	市立四日市病院ボランティアふれあいグループ	ワンランクアップ講座	25名
54	2月28日(木)	共同地区福祉協力委員会	共同地区地域福祉ゼミナール2	10名
55	3月9日(日)	ふれあいネット笹川	地域福祉について	60名

⑤社会福祉相談援助実習

社会福祉士を目指す学生の相談援助実習を2名受け入れた。

⑥防災・災害支援事業

(ア) 災害ボランティアセンター推進事業

四日市市社会福祉協議会災害ボランティアセンター運営マニュアルに基づき、災害ボランティアセンターを設置する工程の確認及び、運営マニュアルの見直しと設置に向けた準備物の整備を行った。また、災害ボランティアセンター設置運営に関する出前講座や訓練を実施し、市民理解の増進に努めた。

開催日	講座名	開催内容
9月10日(日)	市民総ぐるみ総合防災訓練	災害ボランティアセンター啓発
11月26日(日)	内部地区防災訓練	災害ボランティア設置訓練
1月21日(日)	防災大学	災害ボランティアセンター運営について
2月17日(土)	富田地区防災講座	災害ボランティア講座
2月21日(水)	四日市市社会福祉協議会BCP訓練	BCP訓練、緊急対策会議等訓練

(イ) 災害ボランティア派遣事業

被災地で活動する災害ボランティアの登録を行うとともに、本会主催で災害ボランティアバスを企画し、被災地への災害ボランティアの派遣を行った。

- ・災害ボランティア保険加入者・・・197名

●平成30年豪雨災害派遣状況

派遣期間	派遣先	派遣及び参加者
7月19日(木) ～20日(金)	岡山県矢掛町	四日市大学8名、四日市看護医療大学4名、社会人3名、行政2名、四日市市社会福祉協議会職員3名 計20名
7月27日(金) ～8月1日(水)	広島県呉市災害ボランティアセンター	四日市市社会福祉協議会職員1名

(ウ) 広域災害ボランティアセンター強化事業

近隣市町3市3町(四日市市、鈴鹿市、亀山市、川越町、朝日町、菰野町)が大規模災害時に協力体制が取れるように、運営マニュアルや様式の調整を行うとともに、それぞれの市町の特性に合わせた連携体制が取れるように情報共有や訓練を行った。三重県がすすめる災害時の広域受援体制モデル市に四日市市がなっており、南海トラフ地震を想定した広域の災害ボランティアセンターの在り方について検討をした。

開催日	内容
5月10日(木)	第1回 ボランティアの受け入れ検討ワーキンググループ
5月20日(日)	三重県受援体制整備にむけた活動実験
9月28日(金)	第2回 ボランティアの受け入れ検討ワーキンググループ
7月2日(月)	三河鈴鹿地区災害ボランティアセンター広域連携強化会議

1月9日(水)	第3回 ボランティアの受け入れ検討ワーキンググループ
1月28日(月)	三河鈴鹿地区災害ボランティアセンター広域連携強化研修会

(3) 包括的な相談窓口の設置

包括的な相談窓口の一本化を図り、関係機関につなぐプラットフォーム的な役割を担った。解決が難しい相談も含めて、関係機関の支援につなげるための「つなぎ支援」を行った。相談内容は多様化と多問題化しており、福祉以外の他職種な関係者との連携が求められている。既存の制度やサービスの隙間の課題について、関係機関と協力しながら新たな支援の構築をすすめている。

●包括的な窓口相談

年 度	新規相談件数
30 年度	567 件
29 年度	559 件

●つなぎ支援相談対応内訳

年 度	訪 問	電 話	来 所	その他	合 計
30 年度	3,583 件	3,842 件	771 件	2,460 件	10,656 件
29 年度	2,856 件	2,908 件	406 件	1,942 件	8,112 件

①成年後見サポートセンター

(ア) 調査研究事業

病院入院や施設入所の際の緊急連絡先や病院代金の支払い等に関して、親族等の支援が得られないケースが増加し対応が課題となっている。これらの課題に対して包括的な相談窓口における困難事例として、調査研究をすすめた。

●モデル事業ケースの対応内訳

年 度	病院	介護施設	老健	病院(心療内科)	その他	合 計
30 年度	36	21	8	2	2	69

終了ケース 18 件、継続支援ケース 51 件。継続支援ケースについては 31 年度も引き続き支援を行う。

(イ) 事業調査研究会の実施

各病院などの医療連携室等に入院入所時の課題について、現状の確認を行うとともにモデルケースに対する評価など意見交換を行った。あわせて今後事業化に伴う課題整理と方向性について検討をすすめた。

調査研究会の実施

日程	内 容
10月5日(金)	救急病院系医療連携室との意見交換会 ・入院入所サポートモデルの課題の整理
11月20日(火)	リハビリ病院系医療連携室との意見交換会 ・入院入所サポートモデルの課題の整理
1月31日(木)	四日市市在宅医療・介護連携支援センター、行政との今後の方向性の検討 ・事業化に向けた検討

(ウ) 権利擁護の啓発の機会の実施

福祉専門職、当事者組織、地域団体などより出前講座の依頼を受け、権利擁護や成年後見制度の説明の機会、成年後見サポートセンターの役割についての出前講座を行った。

また、四日市福祉教育大学の専門ゼミナールと合同で、一般市民・活動者養成の権利擁護講座を実施した。

(エ) 相談対応内訳

年 度		訪 問	電 話	来 所	代行等	合 計
30 年度	相談支援	95 件	287 件	42 件	324 件	748 件
	後見人支援	1 件	13 件	16 件	23 件	53 件
29 年度	相談支援	300 件	290 件	120 件	416 件	1,126 件
	後見人支援	0 件	8 件	21 件	8 件	37 件

②地域後見サポート事業

市や福祉・司法関係機関との連携を図り、市民からの成年後見制度に関する相談や成年後見制度を必要とする人々の支援を行う事業を実施した。

年 度	支援実人数
30 年度	530 人
29 年度	401 人

法人後見受任

成年後見サポート事業運営委員会を設置し、専門職後見人の選任が難しいケースなどの法人後見人を受任した。課題を多く抱えるケースや後見人が不足した際のセーフティネットとして、法人が後見人となり、市民と後見活動を協働できる仕組みの検討をすすめた。

内 容	件 数
受任支援	12 件(内、新規 1 件、終了 1 件)

③福祉総合相談事業

関係機関との連携を図り相談事業の充実に努めた。

- ・開設場所…市総合会館 2 階 福祉総合相談室
- ・相談件数…63 件

相談方法	電 話	来 所
件 数	43	20

相談事項	暮らし・住まい	家 族	健康・医療	人権・法律	教育・福祉	その他
件 数	38	24	51	8	53	9

※相談事項は重複

④三泗日常生活自立支援センター

三重県社会福祉協議会の委託を受けて、判断能力に不安があり、契約内容を一定程度理解できる高齢者や知的・精神障害者等を対象に福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預かりなどの支援を行った。新規契約件数は 63 件となっている。

所長 1 人、専門員 7 人、事務補助員 2 人、生活支援員 51 人(四日市市 43 人、川越町 6 人・朝日町 2 人) 体制で行政、民生委員児童委員や在宅介護支援センター等と連携を図り、事業を展開した。

また、生活支援員の資質向上を図るため、生活支援員研修会を開催するとともに、三重県社会福祉協議会主催の研修会へ参加した。

(ア) 相談件数…12,608 件(年間)

相談対象別件数(件)及び割合(%)

認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合 計
4,684 (37. 2)	2,364 (18. 7)	5,214 (41. 4)	346(2. 7)	12,608 (100)

※相談件数は、専門員及び推進員が利用者や市民等から相談を受け支援を行った件数

(イ) 契約締結件数推移(件)

年 度	新規契約件数	契約解除件数	年度末契約件数
30 年度	63	72	395
29 年度	85	67	404

(ウ) 平成 30 年度末実績

a 生活支援員の派遣状況(件)

週に 1 回	隔 週	月に 2 回	月に 1 回
191	60	71	73

b 利用料負担状況(1 回 1,000 円)

有料	無 料
79 件	316 件(生活保護受給者…199 件、住民税非課税者…117 件)

c 市町別契約件数内訳(件)

四日市市	朝日町	川越町	その他
379	3	9	4

d 契約対象内訳(件)

認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他
152	81	148	14

e 延支援回数(回)

生活保護	非課税	非課税(有料)	課 税	計
7,235	3,883	1,214	769	13,101

※非課税(有料): 住民税非課税者で預貯金 200 万円以上の利用者

(エ) 生活支援員研修会の開催・参加

a 四日市市社会福祉協議会主催

日時 平成 30 年 7 月 5 日(木) 午後 1 時 30 分～午後 2 時 30 分

目的 生活支援員の資質向上を図る。

参加 34 名

内容 講義 「日常生活自立支援事業の概要について」

講師 三重県社会福祉協議会職員 濱田 康太 氏

- b 三重県社会福祉協議会主催
 日時 平成30年11月6日(火) 午後1時30分～午後4時10分
 目的 利用者との関係づくりや援助技術の向上を図る
 参加 21名
 内容 ①講義 「知って納得！こころの病気とその支援」
 講師 三重県立こころの医療センター 澤井 優輝 氏
 ②パネルディスカッション 「支援のあり方を考える」
 パネリスト 志摩市社会福祉協議会職員
 名張市社会福祉協議会職員
- c 四日市市社会福祉協議会主催
 日時 平成31年3月6日(木) 午後2時～午後3時
 目的 生活支援員の資質向上を図る
 参加 29名
 内容 講義 「ケース記録、日報の記載方法について」
 講師 四日市市社会福祉協議会職員

⑤生活困窮家庭支援、リユース事業

生活困窮家庭に対する生活用品の貸与等を実施した。関係者から不要で使用可能なものをお預かりし、必要な人にお貸しする仕組みで実施。神前地区拠点倉庫にしてマッチングを行った。

生活困窮者対策支援事業として、協定を結んだ生活協同組合コープ三重から定期的にカップ麺やお米等をご寄付いただき、地域後見サポート事業などの支援を行っている生活困窮家庭に提供し、生活の再建のきっかけをつくるとともに日常生活支援の指導に役立てた。

内 容	おもな内訳	件数
カップ麺やお米等の食材提供	お米:214.5kg、パックごはん:47パック、レトルトカレー:3袋、カップ麺:53個、缶詰:202缶、備蓄用パン:5セット、乾麺類:130袋、切り餅:4袋、飲料水(コーヒー、お茶等):99本 等	137件
生活物品	炊飯器、掃除機、洗濯機、テレビ、電子レンジ等	12件

【ふれあいのまちづくり事業 まとめ】

地域の福祉活動の推進機関として各地区社会福祉協議会を位置づけて地域福祉活動をすすめるとともに、各地区における地区社協役員会や企画実行委員会、市内を3つのエリアにわけた地区社協ブロック会議、在宅介護支援センターと連携した地域ケア会議などの協議体を通じて情報提供や課題の把握に努めた。特に福祉ニーズの情報共有の会議を特定のエリアごとに開催し見守りネットワークの強化、課題発見の仕組みをすすめることができた。

ふれあいいきいきサロン推進員は、各グループへの情報提供や新たな協議体としての課題の共有や新たな活動の構築にむけた意見交換の場として、ふれあいいきいきサロン連絡会を31地区で48回開催した。このふれあいサロン連絡会の効果は大きく約600のグループのふれあいいきいきサロンのリーダーが参加され小地域活動の今後のキーマンとして期待している。ふれあいいきいきサロンは、前年度末より57グループ多い633グループで年間延べ人数333,287人が参加され、地域における介護予防活動の取り組みとして年々広がってきている。

生活支援コーディネーターは、3つのブロックに配置され、地域包括ケア実現にむけて拠点事業及び地域ケア会議への出席等を通じて地域組織化事業を促進した。また処遇困難ケースのケースワークも実施し地域関係者と福祉関係者と連携した取り組みを行った。これらの事例から出てきた課題をもとに各地区の協議体においてスーパーバイズを実施した。さらに住民主体サービス団体等の立上げと安定した事業継続のための支援を行った。

地域拠点では、住民参加型福祉サービスを協働実施し、総合事業(訪問B、通所B)の実施のモデ

ル事業として視察の受け入れや講師派遣等を行った。

福祉教育大学では、四社協福祉ゼミナール、地域ゼミナール、専門ゼミナールの3つのカテゴリで福祉人材の養成及び研修の機会を作り福祉人材の養成を行った。

包括的な福祉総合相談窓口として、制度の狭間や支援者がいない方の支援体制として「つなぎ支援」を実施した。福祉関係機関と協働で調査研究会を実施し、入院入所時等の新しいセーフティネットの体制作りや、仕組みの必要性和事業化に向けた検討を行った。また、四日市市社会福祉協議会独自の生活困窮家庭への生活再建にむけての支援として企業の協力のもとフードバンク（食材提供）やリユース事業（家電製品の貸与）などを行った。

各地区民生委員児童委員協議会へ定例会議に参画し、民生委員児童委員が取り組む高齢者、障害者（児）への支援、「地域子育てネット0～6会議」をはじめとする子育て支援活動等で明らかになった各地域の社会資源の把握や福祉課題の解決に向けた活動に対する支援を強化した。

引き続き、各地域の福祉課題解決に向けて、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員、在宅介護支援センター、ボランティアなどとコミュニティソーシャルワークを強化していく。

2. 福祉ボランティアのまちづくり事業

ボランティアセンターでは、市民が気軽にボランティア活動に参加できるよう、さまざまな機会の提供に努めた。ボランティアに関する相談は基より、啓発活動や情報提供、学習や活動の場を提供するとともに、ボランティアグループや個人ボランティアへの活動支援などに取り組んだ。

また、将来を担う次世代への福祉学習やボランティア経験にも関係機関と連携しながら取り組んだ。

(1) 相談援助業務

① ボランティアに関する相談及びコーディネート業務

ボランティアに関する相談への対応や、ボランティアを必要としている人とボランティア活動を希望している人や活動中の人を実際の活動につなげるコーディネートを行った。

● ボランティアに関する相談・調整

相談・調整先	件数
市民、関係機関等	495 件

● コーディネート実績

年 度	依頼件数	派遣件数	派遣人数	派遣団体数
30 年度	162 件	112 件	208 名	32 団体
29 年度	148 件	123 件	293 名	44 団体

(2) 情報収集と提供

① ボランティアニュース「ボランティアのたまご」の発行（月1回）

ボランティアに関する事業や情報を掲載し、毎月20日に発行した（発行部数約1,800部）。

ボランティア団体や個人ボランティア、行政、一部企業等の各関係機関への送付や地域の掲示板への貼付などにより、ボランティア活動の周知に努めた。

② ボランティア団体会員募集一覧冊子の作成

ボランティアセンターに登録している団体のうち、会員募集をしている団体を活動分野別に冊子としてまとめ、ボランティア希望者へ情報提供を行った。

③ ホームページの更新

ホームページ上に、ボランティアセンター事業やボランティア募集などボランティアに関する情報を掲載し、ボランティア活動の周知に努めた。

④フェイスブックの更新

若い世代を中心に普及しているフェイスブックの拡散性、即時性、滞留性の機能を活かしてボランティアセンターが開催する各種イベント事業の様子をはじめ、企画の段階から関わってもらったボランティアのみなさんの様子、各ボランティア団体の活動の様子などを発信し、ボランティア活動やボランティアセンターをより身近なものに感じてもらえるように努めた。

(3) ボランティアのきっかけづくり事業

①はじめてのボランティア説明会の開催

これからボランティア活動を始めたいという人を対象に、ボランティア活動に関する基礎知識の習得と実際の活動へのつながりを目的に開催した。開催日時は、より多くの人に参加してもらえるように、毎月3回、平日午前、平日夜間、休日午後とした。

月	開催日	参加者数	説明会内容
4月	10日(火) 17日(火) 21日(土)	19名	<全体説明> ①市社協&ボランティアセンターの概要説明 ②ボランティアについての学習 ③市内ボランティア活動状況 ④ボランティア活動保険の説明 ⑤ボランティア募集状況 他
5月	8日(火) 15日(火) 26日(土)	4名	
6月	5日(火) 12日(火) 19日(火) 23日(土)	23名	
7月	10日(火)	3名	
8月	14日(火) 25日(土)	4名	
9月	6日(火) 13日(火) 29日(土)	8名	
10月	20日(土)	2名	
11月	6日(火) 13日(火) 17日(土)	5名	
12月	11日(火) 15日(土)	5名	
1月	8日(火) 19日(土)	2名	
2月	5日(火) 12日(火) 23日(土)	5名	<個人対応> ①1対1で活動希望の聞き取り ②活動先との調整 ③見学への同行 ④活動中のフォロー
3月	5日(火) 12日(火) 23日(土)	13名	
年間	30日	93名	

②サマーチャレンジ2018の開催

高校生・大学生・専門学校生を対象に、夏休み期間を利用してボランティア活動をしてもらうことで、ボランティア活動の魅力を伝えるとともにボランティア活動者の育成を図ることを目的に開催した。

開催日	活動内容	受け入れ施設・団体	参加者数 (延数)
6月21日(木) 26日(火) 27日(水) 7月6日(土) 10日(火) 12日(木) 21日(土) 8月2日(木)	事前説明会 ・自己紹介、ボランティアセンターから (活動の心得、保険、登録など) ・活動メニューの紹介 ・グループワーク(活動の期待等)	【開催場所】 市総合会館 四日市南高校 四日市四郷高校 暁高校 ユマニテック医療福祉大学校 四日市看護医療大学	182名
8月3日(金) 6日(月) 7日(火) 8日(水) 10日(金) 17日(金) 28日(火) 31日(金)	子どもたちと遊ぼう！(保育園・サロン での子どもたちとの交流)	大谷台保育園 サロンよってこ家	65名
7月26日(木) 8月6日(月) 7日(火)	高齢者とふれあおう！(高齢者施設で の話し相手・レクリエーション・夏祭りの お手伝い等)	四日市ユートピアハウス 介護老人保健施設 みえ川村老健	46名

8 日(水) 9 日(木) 21 日(火) 22 日(水) 23 日(木) 25 日(土)		特別養護老人ホーム うねめの里	
7 月 27 日(金) 30 日(土) 8 月 6 日(月) 10 日(金) 13 日(月) 20 日(月) 27 日(月) 31 日(金)	障害のある子どもたちと交流しよう！ (児童デイサービスでの障害児との交流)	障害者福祉センター	23 名
7 月 29 日(日) 8 月 12 日(日) 16 日(木) 29 日(水)	障害者スポーツと一緒に楽しもう！ 「ボッチャ」の体験 「SSピンポン」の体験	ボッチャサークル コロコロ四日市 エンジョイSSピンポンクラブ	28 名
9 月 1 日(木) 17 日(祝)	参加者交流会 ・活動紹介のパネル作成 ・ボランティアのつどいへの参加		20 名

(4) 人育て（人材育成）事業

①地域福祉活動拠点でのボランティア講座

ボランティアに関心を持ち、身近な地域で活動する人を増やすことを目的に講座「ボランティアカフェまなびや」をサロンよってこ家で開催した。

開催日	開催内容	参加者数
4 月 24 日(火)	よってこ家 園芸クラブ ～プランターで夏野菜を育てよう！～	4 名
5 月 11 日(金)	よってこ家 園芸クラブ フォローアップ	2 名
6 月 26 日(火)	草取りや庭木の手入れ コツを学ぼう！ ～よってこ家で一緒に実践～	7 名
7 月 24 日(火)	ふれあい講座 ～親子で一緒に～	10 名
8 月 28 日(火)	よってこ家 楽しい工作教室 ～学生さんも一緒に遊びますよ～	26 名
9 月 25 日(火)	よってこ家 防災教室 ～みんなで一緒に作りましょう～	13 名
10 月 30 日(火)	よってこ家 片付け講座	10 名
11 月 27 日(火)	よってこ家 お掃除講座 part1	20 名
12 月 18 日(火)	よってこ家 お掃除講座 part2	11 名
1 月 22 日(火)	よってこ家でからだも頭もリフレッシュしませんか？	18 名
2 月 26 日(火)	簡単なおもちゃを作って遊ぼう ～ちょっとした工夫でより楽しく～	9 名
3 月 26 日(火)	地域のふくし力について考えよう！	68 名

②障害者スポーツボランティア講座の開催

東京パラリンピック(2020 年)、三重県での全国障害者スポーツ大会の開催(2021 年)を控え、障害者スポーツへの関心を高め、応援者を増やすことを目的に講座や大会を開催。

開催日	開催場所	開催内容	参加者数
5月27日(日)	三重北勢健康増進センター 軽運動室	クスノキ杯(SSピンポン大会チーム戦) 8チームによる団体戦の大会 ※エンジョイSSピンポンクラブの共催	64名
11月25日(日)	三重北勢健康増進センター 軽運動室	SSピンポン交流大会(第2回住友電装杯) 【大会】 20ペアによる予選リーグ、決勝トーナメント戦 【交流・体験】 当日自由参加による体験・交流 ※住友電装株式会社との共催	70名
2月2日(土) 2月23日(土)	市勤労者・市民交流センター、 市中央緑地第2体育館	『障害者スポーツの魅力』 (講師) 日本福祉大学助教 安藤 佳代子 氏 『ボッチャ体験会』 ※体験会のみ四日市体育協会の共催 2月23日は体験会のみ	34名

③福祉教育推進事業・福祉教育への支援

(ア) 地域福祉教育推進(講師派遣)事業 [19校 27講座]

子どもたちが地域の中で生活全般にかかわる「福祉」について学び、自分にできることを考えるきっかけづくりとなる福祉教育を推進するため、日常的に子どもたちと関わり、福祉教育を実践されている学校と協議をしながら、子どもたちにあった学習プログラムを作成した。

講師の紹介や調整、依頼やその経費については市社協が担う事業として実施した。

学校名	派遣した講師
県小学校	視覚障害者(エンジョイSSピンポンクラブ)
内部小学校	視覚障害者(エンジョイSSピンポンクラブ)
川島小学校	聴覚障害者(四日市市ろうあ福祉会)
	視覚障害者(エンジョイSSピンポンクラブ)
	肢体障害者(ボッチャサークルコロコロ四日市)
	四日市市社会福祉協議会職員
塩浜小学校	視覚障害者(地域の方々、エンジョイSSピンポンクラブ)
羽津北小学校	視覚障害者(エンジョイSSピンポンクラブ)
保々小学校	四日市市社会福祉協議会職員(「認知症理解」)
日永小学校	視覚障害者(エンジョイSSピンポンクラブ)
	聴覚障害者(四日市市ろうあ福祉会)
八郷小学校	肢体障害者
	聴覚障害者(四日市市ろうあ福祉会)
朝明中学校	四日市市社会福祉協議会職員(「プロに聞く「福祉のしごと」)
内部中学校	四日市市社会福祉協議会職員(「プロに聞く「福祉のしごと」)
大池中学校	視覚障害者(エンジョイSSピンポンクラブ)
	四日市市社会福祉協議会職員(「プロに聞く「社会福祉士」)
橋北中学校	肢体障害者(ボッチャサークルコロコロ四日市) 市社会福祉協議会職員
楠中学校	四日市市社会福祉協議会職員(「福祉・障害」)
	視覚障害者(エンジョイSSピンポンクラブ)
桜中学校	四日市市社会福祉協議会職員(「福祉・障害」)

笹川中学校	肢体障害者(ボッチャサークルコロコロ四日市) 四日市市社会福祉協議会職員
中部中学校	四日市市社会福祉協議会職員(「福祉・障害」)
	視覚障害者(エンジョイSSピンポンクラブ)
	肢体障害者(ボッチャサークルコロコロ四日市) 四日市市社会福祉協議会職員
常磐中学校	視覚障害者(エンジョイSSピンポンクラブ)
西笹川中学校	四日市市社会福祉協議会職員(「福祉の仕事」)
港中学校	視覚障害者(エンジョイSSピンポンクラブ)

(イ) 福祉教育への支援 [2校]

地域福祉教育推進事業実施校以外の小学校・中学校・高等学校で、福祉教育に取り組んでいる学校等の相談に応じ、取り組み内容についての情報提供や福祉用具の貸出等を行った。

(5) 活動支援(助成)事業

ボランティア保険の加入促進等

ボランティア活動中の事故に備えて、ボランティア活動保険の掛金の一部補助(一律一人100円)を行い、加入促進を図った。

ボランティア活動保険加入者 4,010名

また、ボランティア活動をされる団体等が安心して活動していただくためのボランティア行事用保険、福祉サービス総合補償、送迎サービス補償の窓口業務を行った。

ボランティア行事用保険加入件数 397件

福祉サービス総合補償加入件数 26件 従事者延人数 788名

送迎サービス補償加入件数 11件

(6) 協働事業

①四日市ボランティアキャンペーンの開催

ボランティア活動の啓発及びボランティア人口「ボラ友」の拡大を目的に、3月4日「**みんな**

①よにボランティア」(キャッチフレーズ)を四日市市のボランティアの日とし、また3月4日～31日までを四日市ボランティアキャンペーン期間として、下記内容を実施した。

開催に伴い、企業13社の協賛や協力を得た。

●街頭PR活動 in ふれあいモール

開催日	開催場所	開催内容	参加者数
2月16日(土)	四日市駅前東口広場 ふれあいモール	街頭PR活動 ・ティッシュ、チラシ配り ・ゆるキャラと一緒に写真を撮ろう!	6名

●はじめてのボランティア説明会

開催日	開催場所	開催内容	参加者数
3月5日(火) 12日(火) 23日(土)	市総合会館	・ボランティアに関する基礎知識 ・ボランティアの心がまえ ・ボランティア募集や活動紹介など	15名

●ボランティア体験活動メニュー

開催日	内 容	参加者数
3月4日(月)	ユニバーサルデザイン ミニ講座 [協力団体:UD(ほっとねっと)]	11名
3月6日(水)	公園に鳥の巣箱を設置しよう! [協力団体:緑の会羽津]	4名

3月8日(金)	アルミ缶を使って『あさけワークス』施設利用者と交流しよう (アルミ缶アート作成、アルミ缶ボッチャ) 〔協力施設:障害者自立支援施設あさけワークス〕	15名
3月10日(日)	傾聴コミュニケーション講座 〔協力団体:傾聴ボランティア「四傾聴」〕	13名
3月14日(木)	傾聴ボランティア養成講座 〔協力団体:『傾聴同好会』〕	9名
3月16日(土)	アルミ缶を使って『あおぞらワーク』施設利用者と交流しよう (アルミ缶アート作成、アルミ缶輪投げ等) 〔協力施設:社会福祉法人四季の里あおぞらワーク〕	13名
3月17日(日)	障害者スポーツ『ボッチャ』ボランティア (競技を知り、一緒に楽しみ、活動) 〔協力団体:ボッチャサークルコロコロ四日市〕	8名
3月20日(水)	ボランティアニュースの封入作業(ボランティアニュース発送準備作業)	8名
3月22日(金)	ジャガイモの苗を植えよう! 〔協力施設:作業所来夢〕	2名
3月23日(土)	50歳からのセカンドライフ講座 〔協力団体:シニアサークル「男の囲炉裏端」の会〕	4名
3月24日(日)	障害者スポーツ『サウンドテーブルテニス』ボランティア (競技を知り、一緒に楽しみ、活動) 〔協力団体:エンジョイSSピンポンクラブ〕	5名

● ボランティアキャンペーン啓発及び体験活動メニュー企画運営委員会の開催
〔運営委員会〕

開催日	参加者	開催内容	参加者数
4月17日(水) 11月20日(火) 12月5日(水) 12月10日(月) 1月18日(金) 2月18日(月)	・ボランティア団体 (4団体) ・学生関係(1校) ・個人ボランティア	①四日市ボランティアキャンペーン 啓発や企画に関すること ②体験活動メニューに関すること ③活動の振り返り	38名

② ボランティアのつどいの開催

ボランティアセンター登録団体や個人ボランティアが一堂に会することによって、情報交換や交流を行い、団体同士または、団体や個人とボランティアセンターのつながりを強化することを目的に開催した。(実行委員会形式で開催)

開催日	開催場所	参加者	開催内容	参加者数
9月17日(祝)	四日市市文化会館 第3ホール	・ボランティア団体 ・個人ボランティア ・一般参加	しゃべって 知って 楽しんで 元気になるよ! ・講演会「これからのボランティア活動とは…あらためて民間福祉活動を考える!」 講師:金城学院大学講師 橋川 健祐氏 ・里親講座 児童家庭支援センターまお ・活動紹介 市内のボランティア団体や活動者が集まり、活動紹介、パネル展示、ボランティアカフェ等で交流	122名

〔実行委員会の開催〕

開催日	参加者	開催内容	参加者数
5月23日(水) 6月27日(水) 8月29日(水) 9月10日(月) 10月22日(月)	・ボランティア団体(4団体) ・学生関係(1校) ・個人ボランティア	①企画内容に関すること ②当日の運営等に関すること ③つどいの振り返り	32名

③コーディネートを考える会議の開催

コーディネート業務の向上を図ることや新たなしくみづくりを構築していくことを目的とし、関係機関（ボランティアの送り出し機関、ボランティアの受け入れ機関、中間支援組織、学識経験者など）が集まり、よりよいコーディネートに向けて情報の共有や意見交換を行った。

開催日	参加機関	開催内容	参加者数
7月5日(木)	①住友電装株式会社 ②ユマニテク医療福祉大学校 ③作業所 来夢 ④よっかいち諧朋苑 ⑤四日市ウミガメ保存会 ⑥三重県ボランティアセンター ⑦学識経験者	■今年度の取り組み ■個別ニーズへの対応について(今年度取り組み方向・富田での取り組み・難病者と学生の交流)	12名
10月11日(木)	①作業所 来夢 ②よっかいち諧朋苑 ③四日市ウミガメ保存会 ④障害者相談支援センター ソシオ ⑤三重県ボランティアセンター ⑥学識経験者	■個別ニーズへの対応についての意見交換(富田での取り組み・難病者と学生の交流) ■事業の振り返り	10名
12月27日(木)	①ユマニテク医療福祉大学校 ②よっかいち諧朋苑 ③四日市ウミガメ保存会 ④障害者相談支援センター ソシオ ⑤三重県ボランティアセンター ⑥学識経験者	■個別ニーズへの対応についての意見交換(富田での取り組み・個別相談の状況から)	9名
3月25日(月)	①ユマニテク医療福祉大学校 ②作業所 来夢 ③よっかいち諧朋苑 ④四日市ウミガメ保存会 ⑤障害者相談支援センター ソシオ ⑥三重県ボランティアセンター ⑦学識経験者	■個別ニーズへ対応についての意見交換と次年度の方向(富田での取り組み・個別相談の現状から) ■次年度の取り組み	12名

④学生〔高校生・大学生〕ボランティア連携事業

現在、つながりのある学校とのさらなる顔の見える関係づくりを目的に、イベントや活動等を通して連携強化に努めた。

学校名	活動内容
四日市看護医療大学	①サマーチャレンジ事前説明会の開催、活動メニューへの参加、ボランティアのつどいへの活動紹介掲示 ②ボランティアのつどい実行委員としての参画及び参加
ユマニテク医療福祉大学校	①介護福祉学科1年生へのボランティア講座の開催 ②各種ボランティア活動への参加 ③サマーチャレンジ事前説明会の開催、活動メニューへの参加、ボランティアのつどいへの活動紹介掲示

四日市四郷高校、四日市南高校、暁高校	①サマーチャレンジ事前説明会の開催、活動メニューへの参加 ②各種ボランティア活動への参加
中部中学校、港中学校、西笹川中学校、楠中学校、大谷台小学校、内部東小学校、日永小学校	四日市ボランティアキャンペーンへの参加・協力

【福祉ボランティアのまちづくり事業 まとめ】

平成 31 年 3 月 31 日現在のボランティアセンターへのボランティア団体登録数は、169 団体 5,688 名、また個人登録数は、139 名であった。

登録団体の活動分野は、福祉分野を含め、多岐にわたっている。個人ボランティア登録者も活動状況はさまざまで、はじめてのボランティア説明会参加者も含め、状況に応じて登録や登録継続について確認している。

ボランティアコーディネートについては、相談支援管理システムを活用し、職員間の情報共有や対応をすすめている。依頼者側の「ボランティア」への理解や受け入れ状況については、まだまだ、ボランティアは“安価な担い手”的な依頼も多く散見されるため、今後も双方で確認しあうなど、引き続き課題の一つとして取り組み、コーディネート力をアップしていきたい。

事業としては、例年、ボランティアキャンペーンやボランティアのつどいを開催、実行委員会等組織して実施している。継続的に協力いただいているボランティアの方々もあり、企画運営などに多方面でのアイデアをいただいている。今後も企画側、参加側がより満足を得ていただけるような事業にできるよう、ボランティアの力を借りながらすすめていきたい。

2021 年には三重とこわか国体・三重とこわか大会が開催される。障害者スポーツボランティア講座では、デモンストレーションスポーツでもある S S ビンポンや、三重とこわか大会から正式種目になるボッチャの競技について取り組みを展開した。講座だけでなく、企業や関係団体との協力で体験会や交流大会を実施、新たな団体とのコラボにもつながった。今後も協力いただける企業や団体とのあらたなつながりを模索しながら、多くの市民の方々に障害者スポーツの魅力を知っていただき、障害者アスリートを応援する機運を高める事業に取り組んでいく。

また、身近な地域で活躍できるボランティアを増やすことを目的に、福祉活動拠点での講座を開催。様々なメニューの実施で、新たに拠点の活動につながる方もあり、今後も生活支援コーディネーターと連携・調整しながら活動の広がりを模索していく。

夏休みの期間には、高校生、大学生、専門学校生を対象にしたボランティア体験プログラム「サマーチャレンジ」を引き続き実施。参加する学生がそれぞれの目的を持って参加、ボランティア活動を体験し、振り返ることで、自身の目的の達成感や今後の進路にもつながるきっかけの一つとして利用してもらっている。事前説明会を市内の高校等の協力を得て学校で開催したり、学生から要望の多い子どもに関わる活動を保育園の協力でメニューを増やしたりすることで、今年度の参加は大幅に増えた。また、この参加をきっかけに夏休み期間以外にも、活動に参加する姿も見られた。今後も引き続き、多くの学生の参加が得られ、次のステップにつながるよう企画の充実を図りたい。

事業実施の他、ボランティアセンターの重要な業務のひとつであるコーディネートのより充実を図るために、関係機関が集まってコーディネートを考える会議を開催し、ボランティアに関する課題の抽出や情報交換・情報共有を行い、事業も含めたこれからの方向やすすめ方についてアドバイスをいただいた。今後もさらに、事業やいろいろな機会を通してさまざまな機関との関係づくりを図っていききたい。

3. 福祉施設の管理運営

(1) 中央老人福祉センター

施設の市民利用に供するほか、民謡、水墨画、大正琴教室を開催するとともに看護師を配置し、機能回復訓練及び健康相談などに応じるとともに毎日健康体操をして高齢者の健康管理に努めた。また、利用者ニーズに基づき、いきいき体操、音楽会を開催した。さらに三重県警に協力を得ながら交通安全や振り込め詐欺を未然に防ぐための啓発を行った。

・健康相談日数 246 日 ・延人数 7,930 名 ・1 日平均 32 名

【利用状況】

年 度	団体利用数		一般利用数	計	一日平均	開館日数
30 年度	291 団体	4,660 名	26,364 名	31,024 名	105 名	295 日
29 年度	313 団体	4,828 名	28,261 名	33,089 名	111 名	297 日

(2) 母子・父子福祉センター（指定管理施設）

母子家庭及び寡婦の経済的・精神的負担を軽減し、生活の安定と自立を促進するため、各種相談や技能習得講座を実施した。また、趣味を通じての生きがいやふれあいづくりを目的としてサークルを支援した。

・相談件数 736 件（29 年度相談件数 867 件）

【技能習得講座・サークル実施状況】

講座・サークル名	回 数	延人数
技能習得講座		
・パソコン	12 回	57 名
・飾り巻き寿司	1 回	8 名
サークル		
・書 道	24 回	293 名
・手 芸	24 回	108 名
・ちぎり絵	12 回	58 名
・編み物	24 回	202 名
・和 裁	33 回	86 名
・リフォーム	24 回	84 名
合 計	154 回	896 名
29 年度	156 回	1,042 名

(3) おもちゃ図書館

障害の有無に関わらず、子どもたちが「おもちゃ」を通じて、情操や知的・身体的機能を高めてふれあうことや、おもちゃ図書館や移動おもちゃ図書館へ来館する親の子育て支援を目的とし、おもちゃ図書館ボランティア「よっちゃんグループ」の協力を得て運営を行った。

●おもちゃ図書館利用実績

	30 年度(※)	29 年度
児 童	3,226 名 (障害児 62 名)	4,162 名 (障害児 94 名)
保 護 者	3,025 名	3,748 名
教 諭	17 名	—
利用者合計	6,268 名	7,910 名
年間開館日数	215 日	214 日
1 日あたりの利用者数	29 名	36 名

(※ 移動おもちゃ図書館、おもちゃ図書館まつりを含まない。)

●団体利用実績 [8 回]

種 別	施設名	回 数	延べ利用者数
四日市市児童発達支援センター	あけぼの学園	8 回	77 名

●移動おもちゃ図書館〔8回〕

実 施 日	種 別	利用者数
5 月 23 日(水)	下野中央保育園子育て支援センター まんまる	60 名
8 月 1 日(水)	塩浜こども園子育て支援センター ひまわり	35 名
9 月 12 日(水)	三重地区民児協子育て支援	69 名
10 月 3 日(水)	神前地区民児協子育て支援	17 名
11 月 29 日(木)	橋北子育て支援センター ぽっぽ	86 名
12 月 5 日(水)	あがた保育園子育て支援センター	27 名
2 月 13 日(水)	海蔵保育園子育て支援	38 名
3 月 6 日(水)	笹川保育園子育て支援	60 名
	合 計	392 名

●おもちゃ図書館まつり

実施日 平成 30 年 7 月 21 日 (土)
 場 所 四日市市文化会館 第 4 ホール
 参加数 201 名 (乳幼児 105 名、大人 96 名)
 内 容 魚つり・ボーリング・まとあてなど体を使って遊べるコーナー、乳幼児向けのおもちゃコーナー、手づくり布絵本コーナーなどの各種コーナーの設置と、ボランティアによる手づくり人形劇『おむすびころりん』の開催。

福祉支援課

市民の求める多様な福祉ニーズに対応するため、障害者自立支援事業、福祉施設管理運営事業、介護保険事業等を実施し、利用者本位の福祉サービス提供に努めた。

1. 障害福祉支援室

(1) 障害者自立支援施設「共栄作業所」(指定管理施設)

「共栄作業所」は障害者自立支援法で定められた新事業体系への移行を平成 23 年 4 月に実施し、就労継続支援 B 型事業所として 8 年目を迎えた。当作業所は、一般の事業所に雇用されることが困難な利用者に対し、生産活動・その他の活動をとおしての仲間づくりや生活面での自立を目指して支援を行った。また、受注作業や自主製品作業に取り組むとともに、利用者の高齢化・障害の重度化が進行する中で、個々の能力や身体機能に見合った作業と生活の支援を行うことで、心身ともに充実した日々が送れるように努めた。

さらに、利用者が地域で充実した生活を送れるよう、保護者会（NPO 法人）が、主体となって取り組んできたグループホーム「クローバーの家」、「しらとりホーム」、「第 2 クローバー」の運営についても、グループホーム担当者会議等へ参画し、連携を図った。

利用者数 32 名（定員 37 名）

活 動	内 容
自 主 製 品 作 業	さをり織り作業、縫製作業
受 注 作 業	リサイクル解体作業、封筒点字刻印作業、贈答品箱詰め作業、段ボール組み立て作業、農耕関連作業、割箸の袋入れ作業、段ボール製品穴あけ作業、紙製品加工作業、木工製品加工作業
実 習	目的別社会実習（買物・ボウリング等）サークル活動（リズムダンス、カラオケ、ドライブ、町に出よう）
社 会 体 験	即売出店、社会・工場見学、さをり織り展示会
運動・レクリエーション	散歩、余暇活動、体操、音楽鑑賞、ミニ運動会、カラオケ大会、ボランティア交流会

- ・自主製品の販売促進のため、地区文化祭などの各種即売に積極的に参加した。また、常時、製品の展示・販売を常設の店舗で行った。
- ・市主催じんけんフェスタで展示即売会を行い、さをり織り体験も実施した。
- ・四郷文化祭ふるさとまつり、四日市萬古まつり等のイベントなどに参加し、当事業所の PR と併せて啓発活動を行った。
- ・第 10 回目の「さをり作品展きょうえい」を昨年に引き続き作業所で開催し、さをり織りの PR と販売の拡大に努めた。
- ・個人、団体ボランティアとの連携を図り、作業への協力や、地域交流会(ミニ運動会)、ボランティア交流会(カラオケ大会)をとおして利用者との交流促進をした。
- ・実習生、見学者を受け入れ、利用者との交流や障害者理解の促進、福祉体験の場を提供した。平成 30 年度は社会福祉相談援助実習 2 人、四日市市新規採用職員 12 人、笹川中学校 3 人の受け入れを行った。また、ビューティーセラピーの資格取得に係る実習として 1 人受け入れを行った。
- ・昼の休憩時に遠出の散歩などによる体力づくりに努めるとともに、利用者の健康状況に合わせた食事の提供を行った。
- ・地域に根ざした施設運営を図るため、地域住民、保護者代表等で組織する「施設サービス運営委員会」を定例的（年 3 回）に開催した。
- ・全国社会福祉協議会セルフ協の承認を受けた「幻のなたね油」の販売を継続し、農耕関連作業による就労支援活動の充実を図った。
- ・利用者へのサービスの質の向上を図るため、みえ福祉第三者評価の受審結果に基づく施設運営を行った。

- ・毎月1回地震または火事の発生を想定し、避難訓練を行い、災害時の行動・対応について及び危機管理意識の向上を図った。
- ・不審者対応訓練を年2回（10月、3月）に行い、いざという時の防犯の備えとした。
- ・利用者の作業工賃の向上のため、新たな販路としてインターネットでの自主製品の販売に向けた取り組みを行った。
- ・本館西倉庫の床改修と、照明のLED化に着手し、就労支援に係る環境の整備に努めた。

30 年 度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	開所 日数	20	21	21	21	23	18	22	21	19	19	19	20	244
	延利用 者数	656	695	652	649	685	550	697	639	601	602	599	622	7,647

(2) 障害者自立支援施設「たんぽぽ」（指定管理施設）

常時介護を必要とする重度の障害者に対して、利用者一人ひとりに応じた「個別支援計画」を作成し、排泄・食事等の介護や創作活動・生産活動の機会の提供のほか、身体機能や生活能力の向上のために必要な支援を行った。また、障害者の社会参加に重点を置き、地域住民との交流・社会体験の機会を多く設け、障害者福祉の増進を目指した。

さらに、利用者の重度化と高齢化による機能低下に対応して、家族や関係機関との連携を深め地域で豊かな生活が実現していくための支援を実施した。

利用者数 27 名（定員 35 名）

活 動	内 容
作 業 活 動	アルミ缶回収、缶つぶし、リサイクル用品解体
自 立 訓 練	散歩、身体機能訓練、理学療法（相談を含む）、音楽療法、乗馬療法、プール
生 活 活 動	食事、排泄、更衣、歯磨き、社会体験、買物実習、グループ外出、半日外出、昼またぎ外出
文 化 活 動	レクリエーション、園芸、ステンシル、貼り絵などの工作、季節活動、音楽活動、ピアノ鑑賞
在 宅 支 援	相談支援事業所・各種サービス機関等との連携、福祉制度・福祉サービス情報の提供
日 中 一 時 支 援	四日市市の地域生活支援事業として障害者総合支援法に基づく日中一時支援サービスの提供。原則として自立支援給付費の支給決定を受けた方を対象とし、広く市民の方に施設を利用して頂けることを目指した。

- ・あすなろう鉄道・近鉄電車などの公共交通機関を使つての外出や外出先での飲食・買い物体験、また図書館に定期的に出かける体験を取り入れ、利用者の経験領域を広げた。
- ・利用者の重度化と高齢化・ご家族の介護力低下に対応して、利用者の健康管理と身体機能維持のための取り組みに重点を置くとともに利用者一人ひとりの状況に合わせて支援を行った。
- ・アルミ缶回収を通して、地域住民、企業、保育園、小・中学校との交流を深めた。特に、四郷・泊山・日永小学校では児童との交流を深め、環境理解や障害理解の促進に努めた。
- ・地域交流の取り組みとして、たんぽぽ主催のお茶会・餅つき大会・四郷高校吹奏楽部演奏会等の地域交流行事の開催と地域清掃活動を実施した。また、笹川中学校文化祭・四郷高校文化祭・四郷地区文化祭等の学校・地域行事への参加や近隣の四郷在宅介護サービスセンター・四郷保育園・高花平幼稚園に出向き利用者の方と行事を一緒に行う等、交流を深めた。

- ・地域に根ざした施設運営を図るため、地域住民、保護者代表、ボランティア代表等で組織する「施設サービス運営委員会」を年3回開催した。また、四郷地区の防災行事・人権研修等に参加し、地域の一員としての活動に取り組んだ。
- ・西日野福祉ゾーン合同防災会議の幹事施設として、合同防災会議・合同訓練・合同研修を実施した。
- ・危機管理の取り組みとして、利用者個々の健康管理カード・災害時緊急対応カードの年1回の更新と地震または火災を想定した避難訓練を年4回実施した。また、防犯対策として、職員に対して不審者対応マニュアルの周知と防犯研修を行った。
- ・実習生の受け入れにおいて、社会福祉相談援助実習2人、介護福祉士現場実習4人、教員免許介護等体験7人、四日市市新規採用職員の22人、また卒業後の進路実習としての北勢きらら学園生徒2人、三重大学教育学部附属特別支援学校生徒1名の受け入れを行った。
- ・公益財団法人日本財団より福祉車両（日産キャラバンチェアキャブ）の寄贈を受けた。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30年度	開所日数	20	21	21	21	23	18	22	21	19	19	19	20	244
	延利用者数	444	467	469	448	510	370	479	459	396	362	408	442	5,242

(3) 障害者自立支援施設「あさけワークス」（指定管理施設）

就労や生産活動の機会の提供、一般就労に必要な知識や能力向上のために必要な訓練を行う施設として適切な運営に努めた。利用者の障害特性を把握し、一人ひとりに応じた支援プログラムを考え、個別支援計画に基づいて支援を実施し、利用者の就労意欲を引き出し、利用者によっては就労移行支援事業等への利用を目指せるよう取り組みを行った。

利用者数 12 名（定員 20 名）

活 動	内 容
受 注 作 業	シール貼り、ゴム製品バリ取り、銅線紙はがし、ダンボール製品作成作業など
自 主 作 業	点字名刺・名刺刻印作業、ストラップ、クラフト製品作りなど
リサイクル作業	アルミ缶回収、空き缶分別作業
社 会 体 験	B型事業所見学、グループ別行動、外出体験
地 域 交 流	夏まつり、地域清掃、福祉の勉強会、八郷ふれあいまつり

- ・地域交流の一環として「夏まつり」を開催し、総勢 180 名を越える地域の方に参加してもらい、施設及び障害者に対する理解を一層深める事ができた。
また、地域行事である「八郷ふれあいまつり」に参加し、地域住民との交流に努めた。
- ・八郷社会福祉協議会との共催事業「福祉の勉強会」を開催し、車いす利用者についての理解を深めるとともに、地域住民と施設利用者との交流を図った。
- ・体験学習の場として、市内小・中学校生徒の福祉体験や職業体験などを受け入れ施設や障害への理解を促す機会を提供した。平成 30 年度は福祉体験 56 人、職場体験 3 人の受け入れを行った。
- ・「働くとは？」をテーマに、グループ毎に分かれて、市内事業所の施設見学をした。見学先の選定等を利用者自身が行い、自己選択・自己決定のスタンスを尊重した。
- ・施設も地域の一員であることを自覚するために、月 1 回程度、利用者・職員全員で朝明川の堤防沿いを中心に地域の清掃を行った。

- ・地域に根ざした施設運営を図るため、地域住民、保護者代表等で組織する「施設サービス運営委員会」を開催した。
- ・毎月1回地震または火事の発生を想定し、避難訓練を行い、災害時の行動・対応について、及び危機管理意識の向上を図った。平成30年度からは、水害に関する避難訓練も実施した。
- ・障害者虐待防止や障害者差別解消法などの要点を施設全体で学習し、障害者の権利擁護についての意識向上を図った。
- ・卒業後の進路実習としての北勢きらら学園生徒1人の受け入れを行った。
- ・利用者の増員に向けて、施設見学や実習の受け入れを積極的に行った。
- ・経済的自立の観点から、平均工賃月額1万円を目指し、新規作業の受注等を行った。その結果、目標工賃を達成した。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30年度	開所日数	20	21	21	21	23	18	22	21	19	19	19	20	244
	延利用者数	221	237	226	224	239	186	245	215	198	199	186	207	2,583

(4) 障害者福祉センター（指定管理施設）

障害のある人の社会参加と交流の促進を目的として、身体障害者デイサービス事業等を実施するとともに、併せて障害者福祉関係団体の支援や障害者ボランティアの養成、障害者福祉の啓発等を行った。各事業の実施にあたり、市社協がもつ様々な部署と連携して、公の施設として公正・公平かつ専門職によるサービスの提供に努めた。

①身体障害者デイサービス事業

(ア) 機能訓練事業

言語訓練では、主に脳血管障害の後遺症により、言語に障害のある人を対象に言語症状や社会参加の状態に合わせて個別及び集団による訓練を行った。高次脳機能障害者の集団訓練は、社会参加の機会を広げ、複数人でのコミュニケーションの実践の場になった。

理学療法では、事故や疾病の後遺症などにより、身体機能が低下した在宅の人を対象に機能訓練を実施した。個別の訓練内容を記したカードを作成し、利用者の主体性を伸ばす事や、理学療法士、看護師との関わりの中で、自身の身体機能について見つめなおす機会となった。

(イ) 社会適応訓練事業

歩行訓練では、白杖による単独歩行を目指すだけでなく、同行援護（ガイドヘルプ）のサービス利用に向けて、生活上の移動面の自立支援を行った。また、白杖の取得、使い方からガイドヘルプを受ける技術の獲得までを支援した。歩行訓練でのかかわりをきっかけに、様々な情報提供をする中で、利用者の社会参加の機会が広がった。

また、「点字」という文字を獲得することで、自分自身で生活に必要な情報を得られるよう点字教室を開催した。視覚と聴覚に障害のある重複障害者に対しては指點字を用いてコミュニケーションを図り、新たに参加した利用者とも指點字交流が広がった。

(ウ) 創作的活動事業【ハーモニカ教室】

比較的取り組みやすく、また呼吸器のリハビリにもなるハーモニカを取り上げた。合奏することで利用者同士の自然な交流が生まれ、個人で楽しむだけでなく、お互いのことを気にかけながら全体で楽しむことができた。また、発表の場を設定したことで目標を持って取り組む事ができ、個人の自信に繋がった。

●身体障害者デイスサービス事業実施状況

30 年度				契約者	回数	延利用者数
	1	機能訓練事業	言語訓練	7 名	217 回	217 名
			社会適応訓練Ⅰ・Ⅱ	5 名	32 回	74 名
			終了者フォロー等		262 回	262 名
			理学療法	30 名	580 回	580 名
	2	社会適応訓練事業	点字教室 (視覚障害者)	6 名	20 回	107 名
			歩行訓練 (視覚障害者)	1 名	36 回	36 名
			相談等		11 回	11 名
	3	創作的活動事業	ハーモニカ教室	13 名	20 回	179 名
29 年度				契約者	回数	延利用者数
	1	機能訓練事業	言語訓練	7 名	174 回	174 名
			社会適応訓練Ⅰ・Ⅱ	7 名	37 回	113 名
			終了者フォロー等		266 回	266 名
			理学療法	33 名	577 回	577 名
	2	社会適応訓練事業	点字教室 (視覚障害者)	5 名	20 回	75 名
			歩行訓練 (視覚障害者)	4 名	45 回	45 名
			相談等		22 回	22 名
	3	創作的活動事業	スポーツ吹矢教室	10 名	20 回	157 名

(エ) 障害児デイスサービス事業

18 歳以下の児童を対象に、長期休暇中に活動する場を提供するとともに、保護者のレスパイト（休息）等を目的として実施した。家庭や学校では体験できないことを企画し、自律と自主性を育んだ。（利用契約者数 42 名）

	回 数	小学生	中学生	高校生	合 計
30 年度	12 回	28 名	11 名	11 名	50 名
29 年度	11 回	28 名	8 名	13 名	49 名

(オ) 失語症会話パートナーとの交流会

失語症者が失語症会話パートナーを利用して、会話を楽しむ場を提供した。失語症者同士が会話を楽しんだり、会話パートナーとのやり取りを重ねる事で、話す内容が整理されたり、伝える言葉が出てくるようになるなど、継続利用している効果が現れている。

30 年度		参加者	回数	延参加者数
	失語症者	11 名	22 回	138 名
	失語症会話パートナー	17 名		137 名
29 年度		参加者	回数	延参加者数
	失語症者	13 名	23 回	170 名
	失語症会話パートナー	21 名		180 名

(カ) 難聴者・中途失聴者教室

今回は中途失聴・難聴者が被災することをテーマとして開催した。第1回目は被災した難聴者を講師に招き、阪神・淡路大震災の体験談を聴き、災害時にどのような状況の中で、何に困るのか、その時どうしたのかを学んだ。第2回目は、自分たちにできる防災・減災をテーマに、ワークショップを行った。難聴者と健聴者の意見交換では付箋を有効に使うなど会議を開く時の方法なども同時に学んだ。

開催日	内 容	参加者
12月 1日(土)	「阪神・淡路大震災を体験した中途失聴・難聴者として」 講師:神戸市難聴者協会会長 片岡 知子 氏	33 名
12月22日(土)	「自分たちにできる防災・減災」 講師:神戸市難聴者協会会長 片岡 知子 氏	18 名

(キ) 障害者相談業務

障害者の自立と社会参加を促進するため、障害者の抱えている課題の解決に向けて言語聴覚士、理学療法士、歩行指導員など経験豊かな専門職員が相談にあたるとともに、より専門的な相談支援機関への紹介等を行った。

②障害者福祉関係団体の支援

各団体の活動拠点として貸館や、備品の貸出を行った。利用者アンケートやセンター連絡会にて意見を聴取し、より快適な活動環境の整備に努めた。また、障害者大会の成功に向けて支援を行った。

登録団体：四日市市身体障害者団体連合会（6 団体）、心身障害者団体連絡協議会（3 団体）、障害児者関係団体（22 団体）、創作的活動自主サークル（7 サークル）、ボランティア団体（13 団体）の登録がある。

③障害者福祉に関する啓発・情報提供

(ア) かけはし掲載 3 回

社協の広報紙『かけはし』の『障害者福祉センターだより WITH』の常設コーナーで四日市市民向けに広報した。今後も紙面の充実や工夫をはかる。

(イ) 障害者福祉講座の開催

開催日	内 容	講 師	参加者
3 月 21 日(祝) 会場:市総合会館 7 階 第 1 研修室	「自身がハンディを背負って感じる こと～車いすバスケットとの出会い～」	三重県障がい者スポーツ協会会長 前田 浩司 氏	13 名

(ウ) 出前講座の開催

障害者が地域で安心して暮らせるよう地域の障害者に関する理解の促進を図るため出前講座を開催した。地域福祉課との連携で民生委員児童委員協議会からの依頼が増えた。従来の講師に加え、新たな障害当事者講師を開拓することができ、提供できる講座の内容を充実させることができた。

開催日	依頼者／開催場所	対象	内容・講師	参加者
5 月 29 日(火)	川島地区民生委員児童員協議会 場所:川島地区市民センター	川島地区 民生委員 児童委員	高次脳機能障害の理解 「川島に住めることに感謝して」 講師:丸山 聖子・典子 氏	19 名

7月4日(水)	中部地区民生委員児童委員協議会	中部地区 民生委員 児童委員	視覚障害の理解 障害当事者の体験談、SS ピンポ ンの体験と交流 講師:伊藤 雅彦氏、鳥居 勇次 氏、稲毛 洋子 氏	8名
9月7日(金)	日永地区民生委員児童委員協議会	日永地区 民生委員 児童委員	聴覚障害の理解 聴覚障害者の体験談、ミニ手話講 座 講師:藤田 逸歩 氏	30名
11月17日(土)	八郷社会福祉協議会	八郷地区 住民、八 郷社会福 祉 協 議 会、あさ けワーク ス利用者	肢体障害(頸椎損傷)の理解 「私のくらし～車いす利用者の生活 を、少しのぞいてみませんか～」 講師:伊藤 忠好 氏	31名
12月13日(木)	楠地区民生委員児童委員協議会	楠地区 民生委員 児童委員	失語症の理解 「失語症を知っていますか」言語障 害当事者の体験談 講師:浦口 治博 氏	31名

(エ) 要約筆記奉仕員派遣調整等

年 度	件 数
30年度	392件 761人 (内、市派遣事業:362件 671人)
29年度	473件 955人 (内、市派遣事業:431件 849人)

(5) 障害者自立生活支援センター「かがやき」

障害のある人が地域で自分らしい、心豊かな生活が送れるよう幅広い支援に努めた。支援対象者は身体障害者だけでなく、精神障害と身体障害が重複した重度の人や高次脳機能障害の人も少なくなく、関係機関による支援ネットワークの構築や連携が求められた。

①相談業務

●相談者数 (障害内訳)

年 度	実人員	身体 障害	重症心身 障害	知的 障害	精神 障害	発達 障害	高次脳 機能障害	その他
30年度	172	111	2	20	7	2	1	18
29年度	179	124	2	34	12	2	1	18

●相談方法 (件数)

年 度	訪問	来所	同行	電話・ メール	ケース 会議	関係機関	その他	合 計
30年度	369	234	63	1,202	55	2,532	87	4,542
29年度	390	246	103	593	41	2,606	76	4,055

●相談内容（件数）

年 度	福祉 サービス	障害 病状の理解	保健・医療	不安解消 情緒安定	保育・教育	家族関係 人間関係	家 計・ 経 済
30 年度	3,072	56	415	83	4	240	59
29 年度	2,704	13	495	70	10	147	64

年 度	生活技術	就 労	社会参加 余暇活動	権利擁護	その他	合 計
30 年度	216	133	8	32	224	4,542
29 年度	134	95	24	39	260	4,055

②自立支援協議会生活支援部会の運営

四日市障害保健福祉圏域自立支援協議会の専門部会である生活支援部会において、地域課題の抽出と解決に向けた協議を行った。30 年度は災害時に地域で孤立しない関係づくりをテーマに協議した。災害時には通常の支援が受けられないことを想定し、誰からでも支援を受けることができるよう、個人の支援情報がすぐわかるような情報（ノート）を作成する事になった。また、地域で、単身で暮らす医療的ケアの必要な方の就労に関する問題を共有し、重度の障害のある方の地域生活をどのように支えていくかを継続検討することになった。

また、各事業所連絡会で挙げた課題をテーマに研修会を行い、課題解決のヒントを得たり、支援スキルの向上を図ったりした。

生活支援部会：4 回

準備委員会：4 回

構成委員：行政、障害者支援施設、共同生活援助事業所、生活介護事業所、就労継続支援 B 型事業所、居宅介護事業所、障害当事者、相談支援事業所

連絡会：（居住系サービス事業所連絡会関連会議） 4 回（うち施設見学＆職員交流会 2 回）
（居宅介護事業所連絡会関連会議） 4 回（うち研修会 2 回）
（通所事業所連絡会関連会議） 6 回（うち研修会 1 回、施設見学 1 回）
（GH連絡会関連会議） 8 回（うち研修会 1 回、利用者交流会 1 回）

③特定相談支援事業

障害者福祉サービス等を申請した障害者について、サービス等の利用計画の作成及び利用計画のモニタリングを行い、障害者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、よりきめ細かく支援をした。

●計画支援実績

年 度	契約者数	新規計画	モニタリング	更新・変更計画
30 年度	160 名	14 件	235 件	192 件
29 年度	168 名	23 件	276 件	171 件

(6) 視覚障害者福祉センター

市内在住の視覚障害者を対象に、はり・きゅう・マッサージを職業としている人の技術向上を目的とした三療学術講習会を開催した。

また、情報提供のため、市の公文書などの点訳業務（155 件）を行ったほか、団体活動の場を提供した。

講座名	内 容	回数	利用者数
健康講座	9月13日(木)午後1時30分～午後3時30分 「簡単にできる脊柱矯正」 講義と実技 伊勢指圧治療院 一般社団法人三重県鍼灸マッサージ師会代表理事 島谷 宏 氏	1回	16名
	11月15日(木)午後1時30分～午後3時30分 「最新の医療研究から考える効果的な三療の施術方法と施術者の健康管理」 鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部鍼灸サイエンス学科教授 佐々木 和郎 氏	1回	15名

(7) 障害者就業・生活支援センター「プラウ」

障害に関係なく、希望や能力に応じて職業を通じた社会参加のできる「共生社会」の実現のため、障害者雇用をすすめていく必要がある。精神障害の相談件数の増加に対応して、医療機関に当事者へプラウのチラシ配布の依頼や、受診同行を積極的に実施する等、医療機関との連携強化を図った。また、引き続き一人ひとりに応じて必要な指導、助言、その他の支援を行い、今年度は7,903件の相談を実施し、83人が一般事業所に就職することができた。今後の課題として、相談内容において発達障害に関することが増え専門的支援が求められているため、さらに専門機関を含めた雇用と福祉のネットワークの構築と強化を図ることが必要になってきている。

①相談業務の実施

●登録状況（人数）

年 度	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合 計
30年度	79	320	333	10	742
29年度	111	385	381	11	888

●ツール別延べ相談回数（回）

年 度	来 所	電話 文書メール	家庭 入所施設訪問	職場訪問	他の支援機関	合 計
30年度	1,280	3,257	392	853	2,121	7,903
29年度	1,331	3,979	382	824	1,913	8,429

●相談内容別延べ相談回数（回）

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合 計
就職に関する相談	240	771	1,437	165	2,613
職場定着に係る相談	162	1,264	1,078	6	2,510
日常生活に係る相談	169	356	289	20	834
就業と生活の両方にわたる相談	155	907	853	31	1,946
合 計	726	3,298	3,657	222	7,903
29年度	625	3,846	3,743	215	8,429

●就職した障害者の数（名）

年 度	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合 計
30年度	10	37	35	1	83
29年度	3	45	49	1	98

②関係機関との連携

(ア) 自立支援協議会雇用部会、関係機関連携会議（9回）

各関係機関の取り組みを情報交換し、障害者の雇用について啓発活動や研修会などを実施した。
また、障害福祉計画に基づいた取り組みを実施した。

- ・参加機関 三重障害者職業センター、三重県雇用対策課、北勢福祉事務所、四日市公共職業安定所、一市三町障害福祉課、市商工課、学校関係、就労移行支援事業所、精神障害者相談支援事業所、当事者団体等 23 機関。

(イ) 障害者雇用サポートフェア（市商工課・四日市公共職業安定所と共催）

企業の方に就労移行支援事業所を知ってもらい、障害特性、障害者雇用に関して配慮すべき点、各種支援機関の支援制度を体系的に理解していくことで、一層の障害者雇用の促進を図ると共に既に事業所に就労している障害者の離職を防止し、定着するための機会として実施。プラウも移行支援事業所とともにブースを構え、企業へ業務内容の説明や実習制度の案内等を行った。「株式会社柿安本店しぐれセンター」の企業見学では、他社の取り組みを通して指導方法や支援機関の活用について知っていただいた。併せて、「諏訪メンタルクリニック」の川村医師から「精神障害者の就労について」をテーマに講演をしていただいた。

日 時：平成 31 年 3 月 12 日（火）午前 9 時～午後 5 時 40 名参加

(ウ) A型事業所連絡会の開催（2回）

障害福祉計画をすすめる体制づくりの中で福祉施設から一般就労に向けての取り組みの一環として、福祉施設にA型事業所も含まれるため、課題等をすいあげることを目的に実施した。

(エ) 就労移行推進協議会への参加（7回）

障害者就業・生活支援センターと就労移行事業所との連携強化と就労移行事業所のスキルアップを目的に協議会を発足し、県内 4 カ所の障害者就業・生活支援センターと選出された 5 カ所の就労移行事業所で構成。プラウも委員の一員として参加した。今年度の取り組みとして、福祉施設が抱える課題についてアンケートの実施及びアンケート結果報告とシンポジウム形式での事例発表を「就労支援の未来（あす）を考えるセミナー」として 40 名の参加者を得て開催した。

③研修会の開催（就労・定着支援）

企業向け研修会

「企業における職場定着と支援機関の役割」をいうテーマで、講演及び企業と支援機関のグループワークを実施。特例子会社の現場担当者が多く参加しており、企業にとって他社の取り組みを聴く機会は非常に少ないことから、とても参考になったとの感想をいただいた。

日 時：平成 31 年 1 月 23 日（水） 39 名参加

講 師：株式会社デンソーブラッサム 前島 隆一 氏

就労移行支援事業所 LITALICO ワークス名古屋千種 篠田 瑛子 氏

④職場定着促進（職場定着研修会）

在職中の障害者を対象に、休日等に集まり、グループワーク等で職場での悩み等を話し合う交流の場を提供し、不適応課題の早期発見・改善を図る。

第 1 回 平成 30 年 6 月 9 日（土） 22 名参加

内容：「元気のタネを見つけよう！！～ラップ元気回復行動プラン～」

第 2 回 平成 30 年 8 月 18 日（土） 14 名参加

内容：不安や緊張の軽減やストレス解消法を習得する「タッピングタッチ講座」

第 3 回 平成 30 年 10 月 27 日（土） 19 名参加

内容：「健康体操教室」首・肩・腰・膝等の上半身から下半身へと自分でできるストレッチと鍛え方及び姿勢の説明と実践。

(8) 障害者就労支援事業ワークセンター

就労を希望する障害者を対象に、市役所等において、就労に向けた職場訓練を行い、就労に対する意識づくりを高め、次のステップへの土台作りを行った。

①職場実習の状況

●実習した障害者別の人数と日数

年 度	身体障害	知的障害	身体・知的 重複障害	精神障害	合 計
30 年度	2 名	0 名	0 名	6 名	8 名
	45 日	0 日	0 日	214 日	259 日
29 年度	1 名	3 名	1 名	8 名	13 名
	8 日	121 日	33 日	304 日	466 日

●職場実習後の状況

一般就労（障害者枠）2 名、就労継続A型事業所 1 名、就労継続支援B型事業所 1 名、就労移行支援事業所 1 名、就労移行支援利用への移行準備・治療等 3 名

●訓練作業場所の状況

年 度	市役所 執務室	市役所 執務室外	ワークセンター	合 計
30 年度	27 回	28 回 (市職員 17) (ワークセンター職員 11)	204 回	259 回
29 年度	46 回	76 回 (市職員 39) (ワークセンター職員 37)	344 回	466 回

※市役所執務室 …市役所庁舎内 各課事務室

市役所執務室外…庁舎内会議室・市総合会館内研修室・庁舎内印刷室・庁舎内集配室

2. 高齢福祉支援室

(1) 中地域包括支援センター

①包括的支援事業

(ア) 総合相談支援業務及び権利擁護業務

本人、家族、近隣の住民、地域のネットワーク等を通じた様々な相談を受け、管内の在宅介護支援センターと連携し、相談内容に即したサービスや制度に関する情報を提供しながら対象者への個別支援を行った。また、高齢者の権利擁護の観点から支援が必要な方については、三泗日常生活自立支援センター等の関連機関と連携し対応を行った。（相談件数年間 6,611 件）

<相談件数>

(件)

30 年度		本 人	家 族	その他	合 計
	来 所	39	56	25	120
	訪 問	5,511	139	80	5,730
	電 話	170	301	290	761
	合 計	5,720	496	395	6,611

29 年度		本 人	家 族	その他	合 計
	来 所	41	54	81	176
	訪 問	5,163	139	75	5,377
	電 話	222	331	542	1,095
	合 計	5,426	524	698	6,648

上記のうち、認知症（疑いを含む）に関する相談件数 年間 1,585 件

高齢者虐待に関する相談件数 年間 55 件

三泗日常生活自立支援センターと連携し対応を行った件数 年間 33 件

②包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

(ア) 在宅介護支援センター中ブロック会議

管内の在宅介護支援センター間及び地域包括支援センターと管内の在宅介護支援センター間の連携・情報交換を目的に開催。今年度は、各地区で挙げられた地域課題をもとに、地区・圏域・市レベルそれぞれで取り組むべき課題の整理・解決方法についての意見集約を行った。(年 2 回)

(イ) 介護サービス事業者との連携

四日市市介護保険サービス事業者連絡会の企画・運営等に参画し、介護支援専門員や、他の介護サービス事業者との連携を図り、質の高いサービスの提供を図るための研修会や情報交換を行った。(介護保険サービス事業者連絡会への参加・年 12 回)

(ウ) 中地域医療・介護ネットワーク会議の開催

医療と介護の「顔の見える関係づくり」による円滑な連携を推進するため、三師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会）、訪問看護ステーション、訪問リハビリ事業所、病院の地域連携室など医療分野の関係者と福祉・介護分野の関係者が一堂に会する会議を開催し、症例検討、グループワーク等を実施した。(全体会 年 4 回、世話人会 年 7 回)

(エ) 認知症高齢者等の地域支援体制づくり

認知症地域支援推進員が中心となり、認知症高齢者を支えるための基盤づくりとして、地域住民や企業・団体を対象にした認知症サポーター養成講座・フォローアップ講座等の開催、及び地域における認知症に対する理解の促進のための事業の調整及び協力を行った。(年 29 回)

(オ) 認知症初期集中支援の実施

認知症初期集中支援チーム員が中心となり、認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、認知症の人やその家族に早期に関わり、早期診断・早期対応に向けた支援を行った。(年 42 件)

(カ) 地域包括支援センター連絡会への参加

包括的支援事業の実施状況や介護予防事業の進捗状況の報告及び情報交換のために、市が開催する連絡会に参加した。(年 12 回)

(キ) 介護支援専門員に対する支援

随時地域の介護支援専門員からの個別相談に応じ、支援困難事例への助言やサービス担当者会議の開催支援等の対応を行った(年 45 回)。また、介護支援専門員の資質向上、顔の見える関係づくり等を目的に研修会を開催した。(年 1 回)

(ク) 個別地域ケア会議の開催

在宅介護支援センター・生活支援コーディネーター・民生委員等の関係者と共に、個別ケースの検討を通じて、地域課題の抽出・課題解決方法についての協議を行った。(年 3 回)

(ケ) 医療・介護連携地域ケア会議の開催

中地域医療・介護ネットワーク会議世話人会に併せて開催。在宅医療・介護連携支援センターつなぐとも連携を図り、医療・介護の連携における課題の抽出等を行った。(年 7 回)

(コ) 地区地域ケア会議への参加

在宅介護支援センター運営協議会や地域ケアネットワーク会議を通じて、または在宅介護支援センターが独自に地域の介護支援専門員や民生委員等を招集して会議を開催する等、管内の在宅介護支援センターが主催する会議に参加し、地域課題の抽出・課題解決方法の検討を行った。(年 16 回)

(サ) 地域密着型サービス事業所運営推進会議等への参加

事業所による利用者の抱え込みを防止するとともに、地域の連携が確保され、かつ地域に開かれたサービスとすることでサービスの質の確保を図ることを目的として開催される運営推進会議等に市職員と交代で出席した。(年 61 回)

③要支援者ケアプラン及び総合事業ケアマネジメント

要介護認定で要支援 1・2 と認定された方と基本チェックリストで事業対象者と認定された方に対して、自立に向けた目標を明確にした介護予防プランを作成し支援を行った。

＜介護予防プラン件数＞

年間 14,057 件 (月平均 1,171 件)内、他事業所への委託分 5,121 件 (月平均 427 件)

要支援者ケアプラン件数 … 13,144 件 (内委託 4,948 件)

総合事業ケアマネジメント件数… ケアマネジメントA 16 件 (内委託 0 件)
ケアマネジメントB 753 件 (内委託 153 件)
ケアマネジメントC 144 件 (内委託 20 件)

④地域支援事業における介護予防事業

・地域づくりによる介護予防推進事業

地域での住民主体の通いの場の育成、介護予防の取り組み支援を行う一環として、介護予防推進員が中心となり、「いきいき百歳体操」の周知、活動支援を行った。「地域で元気アップ！住民説明会」(年 19 回)、「いきいき百歳体操」活動立ち上げ集中支援(年 9 ヶ所)、自主活動継続支援「介護予防講座」(年 25 回)を実施した。

⑤参加研修等

三重県介護支援専門員「専門研修課程Ⅰ・Ⅱ」(実務経験者更新研修) … 参加 2 名

認知症初期集中支援チーム研修 … 参加 2 名

精神保健福祉訪問支援者研修 … 参加 2 名

ボランティアコーディネーション研修会 … 参加 1 名

東海ブロック多職種合同H I V研修会 … 参加 2 名

地域包括・在宅介護支援センター初任者研修 … 参加 1 名 等

⑥実習生の受け入れ

平成 30 年度は実習生として看護学生 8 人の受け入れを行った。

(2) 訪問介護事業所

在宅において、日常生活に支障のある高齢者、障害者に対して身体介護や生活援助のサービスを行い安心して在宅生活が送れるよう、また自立支援を目的としてサービスを実施した。

①介護保険訪問介護サービス

・訪問介護事業(介護予防事業・総合事業現行相当サービス含む)の実施

●介護保険・訪問介護サービス介護度別利用者人数(月ごとの集計)

年 度	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
30 年度	323 人	126 人	55 人	40 人	48 人	592 人
29 年度	289 人	126 人	66 人	28 人	76 人	585 人

●介護予防訪問介護(総合事業現行相当)サービス区分別利用者数(月ごとの集計)

年 度	要支援 1	要支援 2	合 計
30 年度	360 人	302 人	662 人
29 年度	372 人	391 人	763 人

●介護保険・訪問介護サービス内容別延利用回数

年 度	生活援助	身体介護	身体生活	合 計
30 年度	2,363 回	4,432 回	1,236 回	8,031 回
29 年度	2,779 回	4,874 回	1,072 回	8,725 回

●介護予防訪問介護、総合事業現行相当サービス別延利用回数

年 度	介護予防	総合事業	合計
30 年度	—	3,658 回	3,658 回
29 年度	2,122 回	2,433 回	4,555 回

②障害福祉サービス

- ・居宅介護事業の実施

●居宅介護サービス利用者数（月ごとの集計）

区 分	身体障害	知的障害	精神障害	合 計
30 年度	303 人	99 人	223 人	625 人
29 年度	401 人	95 人	204 人	700 人

●居宅介護サービス内容別延利用回数

区 分	家事援助	身体介護	合 計
30 年度	2,460 回	5,151 回	7,611 回
29 年度	2,682 回	6,003 回	8,685 回

(3) 通所介護事業所「ゆりかもめ」

- ・「利用者の自立支援」「利用者による選択（自己決定）」「利用者本位」を基本理念に、安全・安心で信頼されるサービスを目指し、食事の提供、入浴、送迎、生活に関する相談・助言、健康状態の確認、その他利用者に必要な日常生活上の支援、並びに機能訓練を提供した。
- ・実利用者数 1,887 名、延べ利用者数 9,719 名、一日平均 32.9 名（昨年 28.5 名）で延べ 1,355 名の増となった。特に要介護 3、要介護 4 の利用者が増えた。増えた要因としては、ターミナルや寝たきりの利用者の受け入れを積極的に行ったためである。
- ・基準緩和通所型サービス A や、「ほんわかカフェ（認知症カフェ）」、小地域サロン等への出前講座等で地域住民に知って頂く機会を積極的につくり、ゆりかもめの通所介護を利用したいと相談に来る利用者や家族が増加した。

●月別利用者数(名)及び営業日数(日)（介護保険・障害者・障害児含む）

30 年 度		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
	利用 者数	163	164	168	172	172	175	180	187	122	125	128	131	1,887
	延利用 者数	792	788	868	856	891	797	883	797	745	731	790	781	9,719
	営業 日数	24	24	26	25	26	23	26	24	24	23	23	25	293

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
29年度	利用者数	129	130	132	134	137	138	136	141	144	146	152	156	1,675
	延利用者数	677	685	748	686	695	631	688	701	659	654	706	834	8,364
	営業日数	24	24	26	25	26	24	25	24	23	23	23	26	293

介護保険事業では延べ 9,719 人の利用があり、要介護は74% (昨年72%) 介護予防24% (昨年28%) であった。

●介護予防通所介護サービス区分別延利用者数(%)

年 度	要支援1	要支援2	合 計
30年度	1,078 人(46)	1,275 人(54)	2,353 人(100)
29年度	959 人(42)	1,335 人(58)	2,294 人(100)

●介護保険通所介護サービス介護度別延利用者人数(%)

年 度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
30年度	3,936 人 (55)	1,159 人 (16)	1,202 人 (17)	512 人 (7)	350 人 (5)	7,159 人 (100)
29年度	3,744 人 (63)	1,051 人 (18)	555 人 (9)	196 人 (3)	386 人 (7)	5,932 人 (100)

●基準緩和通所型サービスA（ゆりかもめA）

要支援状態又は事業対象者である方に対し、残存機能を生かし可能な限り居宅において自立した日常生活を営めるよう心身の機能維持・向上を目指し、他者との交流、高齢者ストレッチ、健康講座、脳トレ等を中心としたサービスを提供した。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30年度	利用者数	19	20	18	22	20	19	22	21	20	22	24	26	253
	延利用者数	57	55	64	64	79	51	72	59	60	48	78	90	777
29年度	利用者数	16	19	23	22	20	20	19	19	17	17	17	17	226
	延利用者数	41	45	75	67	46	78	58	49	51	42	48	65	665

昨年比：利用者数は27名、延利用者数は112名増えた。

年間登録者数：42名のうち、事業対象者は20名

<障害児・者デイサービス事業>

障害児に学校休業日や放課後の日中活動の場を提供するとともに、保護者のレスパイト（休養）等を目的として、介護保険のデイサービス事業所等が活用できる「基準該当放課後等デイサービス事業所」の利用施設として障害児を受け入れた。また、障害者に対する「基準該当生活介護事業所」の利用施設として障害者の受け入れも行った。

●放課後等デイサービス事業利用者数（障害児）

30 年 度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	利用 者数	1	1	1	1	2	1	1	0	1	1	0	2	12
	延利用 者数	3	2	4	3	6	2	2	0	2	1	0	7	32
29 年 度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	利用 者数	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	13
	延利用 者数	4	3	3	4	8	3	3	1	2	1	2	5	39

●基準該当生活介護事業利用者数（障害者）

30 年 度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	利用 者数	1	1	2	2	2	2	3	4	3	3	3	2	28
	延利用 者数	9	11	15	11	13	11	11	18	18	20	20	15	172
29 年 度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	利用 者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	延利用 者数	9	11	8	9	9	11	10	8	4	9	6	5	99

(4) くす在宅介護支援センター

①総合相談

四日市市からの委託を受けて楠地区を担当エリアとし、高齢者・障害者等の各種相談に対応した。相談内容に応じて、介護保険サービスのほかに高齢者福祉サービスの申請代行及びインフォーマルサービスが利用できるように調整を行った。

<相談件数>

	本人	家族	その他	合計
来 所	72	79	27	178
訪 問	293	26	6	325
電 話	60	89	139	288
合 計	425	194	172	791

<昨年度実績>

	本人	家族	その他	合計
29年度	380	311	185	876

- ・楠地区民生委員児童委員協議会定例会への参加（毎月第2木曜日）
- ・楠地区社会福祉協議会総会への参加
- ・楠地区内居宅介護支援事業所情報交換会の開催
- ・防災マップ改正ワークショップへの参加
- ・中学生職業体験の受入れ

②地域介護予防普及啓発、福祉活動推進事業

- ・転倒骨折予防教室「こけねえずクラブ」の開催(毎月：第1・3水曜日) 参加者：平均29.6名／月
- ・若がえり体操教室(毎月第2火曜日) 参加者：平均15.6名／月
- ・地域行事への参加
街角くらぶ、老人クラブの集まり等へ参加し、在宅介護支援センターのPR、消費者被害の情報提供や、介護保険制度の説明、介護予防体操、認知症予防等の出前講座を実施した。
- ・家族介護者の集い「ほんわかカフェ(認知症カフェ)」の開催 毎月1回
4月：29名 5月：26名 6月：38名 7月：21名 8月：22名 9月：21名 10月：45名
11月：21名 12月：23名 1月：40名 2月：34名 3月：26名 合計：346名
- ・「街角カフェ」運営協力
- ・住民主体通所型サービス団体「楠の木サポート通所事業所」の運営支援

③介護予防推進事業

- ・「介護予防意識啓発講座」の開催
出前講座形式で実施
実施回数：全26回開催

④地域ケア会議の開催

- ・各団体代表による地域ケア会議 平成30年8月22日(水)
- ・世代別ミニ地域ケア会議 平成31年2月16日(土)
- ・世代別ミニ地域ケア会議 平成31年2月22日(金)
- ・各団体代表による地域ケア会議 平成31年3月14日(木)

(5) 居宅介護支援事業所

近年、虐待、ターミナル、認知症独居、若年ケース等さまざまな環境におかれた利用者が増えてきている。また、介護者への支援も必要なケース(介護者が認知症、精神疾患、未成年など)もあり、多職種多様の事業所や関係機関と連携調整が必要となってきたなか、利用者ニーズに即した質の高いサービスを提供する事を目標にマネジメントを行い、居宅サービス計画を作成した。

	居宅サービス計画(ケアプラン)作成件数		一ヶ月平均件数
30年度	居宅サービス計画作成	523件	58.4件
	介護予防プラン作成	144件	
	マネジメントA作成	34件	
29年度	居宅サービス計画作成	1,007件	101.2件
	介護予防プラン作成	173件	
	マネジメントA作成	35件	

- ・介護保険サービス事業者等集団指導(1回)
- ・四日市市介護保険サービス事業者連絡会への参加(4回)
- ・医療関係研修(ターミナル、在宅診療、感染症等)(3名)
- ・三重県介護支援専門員協会 三河支部研修会(1回)

(6) 介護保険認定調査室

5,404件の要介護認定調査を四日市市からの受託事業として、調査員15人体制で本業務を行った。

●月別件数（名）

30 年度	月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
	在 宅	431	395	403	435	354	304	
	施 設	45	82	60	60	65	47	
	合 計	476	477	463	495	419	351	
	月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
	在 宅	348	335	383	398	458	536	4,780
	施 設	61	46	39	34	37	48	624
	合 計	409	381	422	432	495	584	5,404
29 年度	月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
	在 宅	494	562	630	632	623	604	
	施 設	95	71	48	26	45	27	
	合 計	589	633	678	658	668	631	
	月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
	在 宅	660	652	592	614	521	490	7,074
	施 設	41	52	62	52	55	57	631
	合 計	701	704	654	666	576	547	7,705